

京都市
自治会・町内会アンケート
報 告 書

平成24年度

京 都 市

目 次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の実施要領.....	1
3 調査票の配付・回収の状況.....	1
4 集計方法、数値の取り扱いについて.....	1
第2章 調査結果.....	2
1 対象の自治会・町内会の概要.....	2
(1) 自治会・町内会の所在地.....	2
(2) 自治会・町内会の区域の世帯数.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
2 自治会・町内会の運営について.....	6
(1) 規約（会則）.....	6
(2) 総会の回数.....	8
(3) 会長の選出方法.....	10
(4) 総会などの会場.....	12
(5) 1ヶ月あたりの会費.....	14
(6) 会費の減免.....	16
(7) 会費の根拠規定.....	18
(8) 予算・決算.....	20
(9) 会計監査.....	22
3 マンション・アパート・公営住宅や事業者の取り扱いについて.....	24
(1) 分譲マンション・アパート.....	24
(2) 賃貸マンション・アパート・公営住宅.....	26
(3) 事業者（企業、商店街）.....	28
4 自治会・町内会の活動について.....	30
(1) 活動内容.....	30
(2) 広報活動.....	43
(3) 加入促進活動.....	45
(4) 今後力を入れたい活動.....	47
(5) 外部団体等との連携.....	50
5 自治会・町内会の課題やその解決に必要な支援.....	54
(1) 課題.....	54
(2) 必要な支援策.....	57
6 代表者の属性.....	60
(1) 性別.....	60
(2) 年齢.....	61
(3) 会長在任年数.....	62
(4) 会長としてご苦勞、ご負担に感じておられること.....	63
第3章 調査結果の概要.....	66

第1章 調査の概要

1 調査の目的

京都市が、「地域コミュニティ活性化推進条例」に基づき、地域住民主体の取組を支援していくに当たり、地域コミュニティの中核である自治会・町内会の現状や課題を把握し、今後の施策づくりに役立てるため、本調査を実施したものである。

2 調査の実施要領

○調査地域	京都市
○調査対象	自治会長，町内会長など
○調査対象数（配布数）	6，614件
○調査方法	書面によるアンケート調査
○調査期間	9月下旬～12月末日
○調査項目	29項目（別紙調査票参照）

3 調査票の配付・回収の状況

配付件数	回収数 (回収率)	有効回答数 (有効回答率)
6,614件	3,776件 (57.1%)	3,721件 (56.3%)

（注）「回収率」及び「有効回答率」は「配付件数」に対する「回収」及び「有効回答率」の割合。「有効回答数」は「回収数」から白票及び締め切り期日後到着分を除外した件数。

4 集計方法，数値の取り扱いについて

- 集計は百分率（％）によるものとし，集計結果は小数第2位を四捨五入し，小数第1位までを表記している。
- 単数回答（選択肢を1つだけ選ぶ）設問の各選択肢の回答構成比の合計は，四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。
- 複数回答（該当する選択肢をすべて選ぶ）設問の各選択肢の回答構成比は，当該設問に回答すべき人数を集計母数として求めているため，回答構成比の合計が100.0%を超える場合がある。
- 全体集計のグラフでは，当該設問の集計母数を「(N=***）」と表記している。
- 回答者の属性等によるクロス集計のグラフ・数表では，集計区分ごとの集計母数を「(N=***）」と表記している。

第2章 調査結果

調査結果の分析を進めるに当たっての注意点としては、まず、自治会や町内会の規模については、一単位の様子は大規模マンションが1つの自治会を形成している場合がみられたり、小さな一つ町で一町内会を形成している場合など、様々な形態が考えられることもあり、また、調査対象においても、京都市内のすべての自治会・町内会を網羅して把握できていないことや回収においても、かならずしもすべての自治会から回答が得られていることでも無いことを考慮すると、今回調査で回答していただいた結果が、ただちに市内の自治会の組織率や加入率、未加入率に直結するものではないことを念頭において今後の分析を進めていくこととする。

1 自治会・町内会の加入状況

(1) 自治会・町内会の加入世帯数

自治会・町内会の区域の世帯数をみると、加入世帯数は「51～100世帯」が32.8%で最も多く、次いで「31～50世帯」(22.3%)となっている。回答者の加入世帯数の合計は284,635世帯、1団体あたりの平均は79.40世帯となっている。

地域別にみると、北区・左京区・中京区・東山区・南区・右京区・伏見区（本所管内、深草支所管内）では「51～100世帯」、上京区・下京区では「1～30世帯」、山科区・西京区・伏見区（醍醐支所管内）では「101～200世帯」がそれぞれ最も多くなっている。1団体あたりの平均が最も多いのは西京区（洛西支所管内）で162.26世帯、最も少ないのは上京区で43.32世帯となっている。

図 加入世帯数

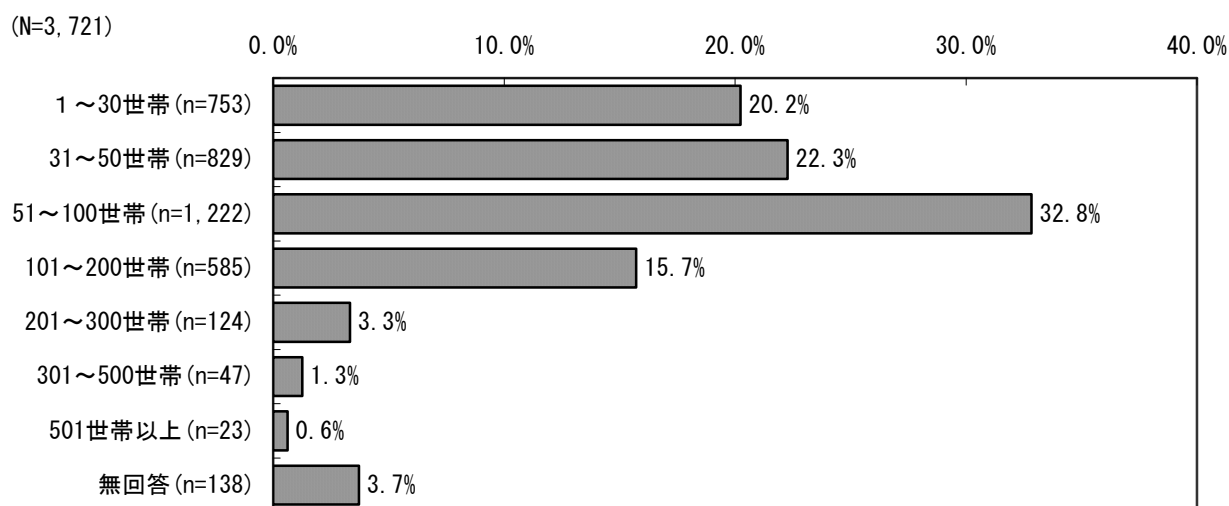
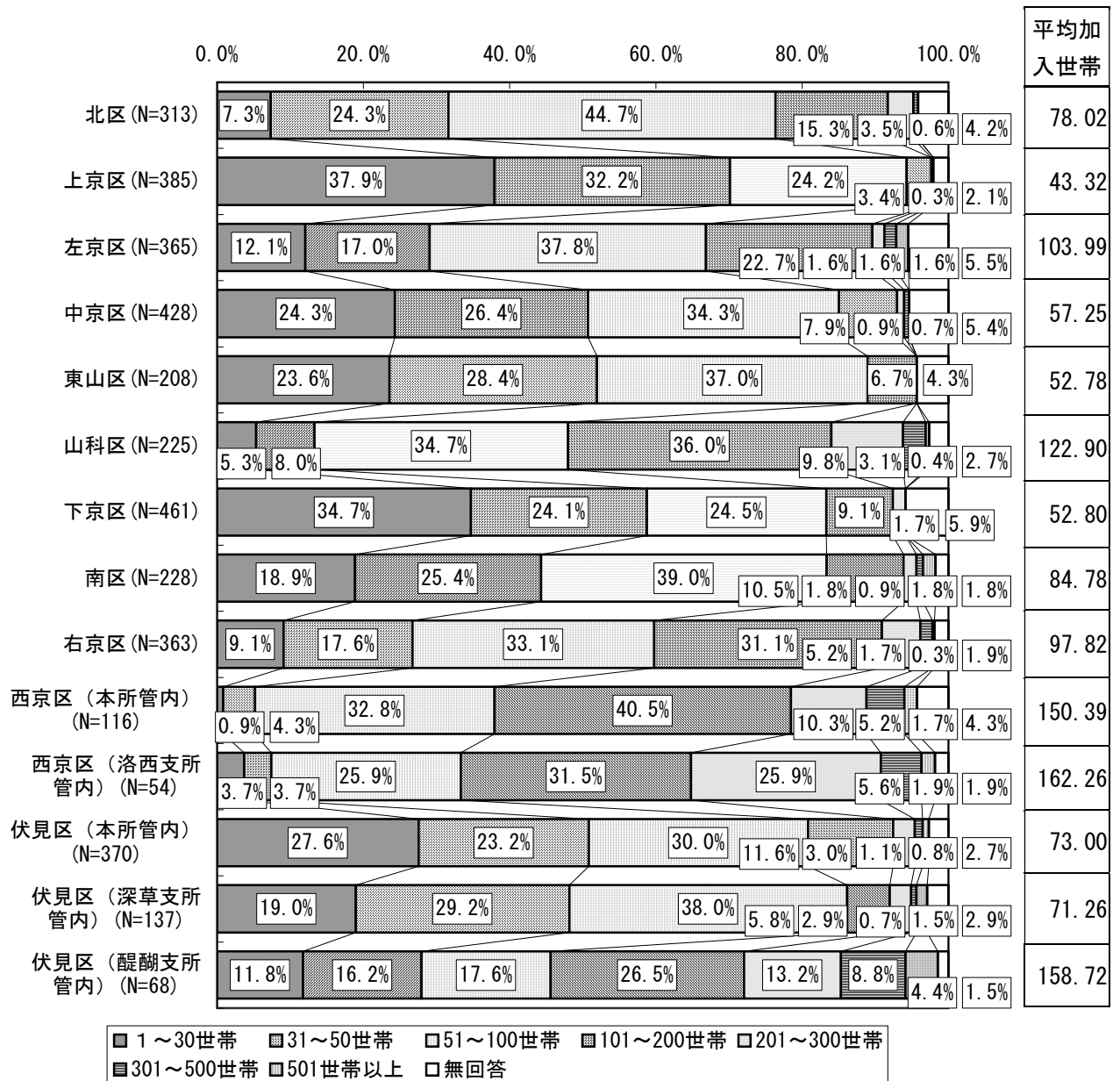


図 地域別 加入世帯数



（２）自治会・町内会の未加入世帯数

加入世帯数についての設問には、ほぼすべての自治会・町内会が回答している（

未加入世帯数をみると、無回答を除いて、「１～１０世帯」が３０．９％で最も多く、次いで「０世帯」（１３．３％）となっている。回答者の未加入世帯数の合計は６１，７７２世帯、１団体あたりの平均は２３．８８世帯となっている。未加入世帯の占める割合をみると、「１０％未満」が３６．０％で最も多く、「０％」と合わせると５割以上の団体で未加入率は１割未満となっている。

地域別にみると、西京区（本所管内）では「５１～１００世帯」、それ以外の区では「１～１０世帯」がそれぞれ最も多くなっている。１団体あたりの平均が最も多いのは西京区（本所管内）で８２．００世帯、最も少ないのは上京区で９．７８世帯となっている。未加入世帯の占める割合をみても、西京区（本所管内）では「３０％以上５０％未満」と「５０％以上」が合わせて４６．６％と５割近くに達しており、未加入率の高さが目立っており、大規模団地などでの加入促進の難しさがうかがわれる。

ただ、今回の調査結果については、あくまでも、各自治会が把握している未加入世帯について集計しているもので、かならずしもすべての自治会が正しく未加入世帯を把握しているとは言い切れない面もあり、参考として考える必要がある。

いずれにしても、今回調査をきっかけとして、自治会・町内会の総数の把握や加入世帯数や未加入世帯数の把握に努めるとともに、自治会活動のより一層の活性化を図るためにも、未加入世帯への加入促進活動を強化していく必要がある。

図 未加入世帯数

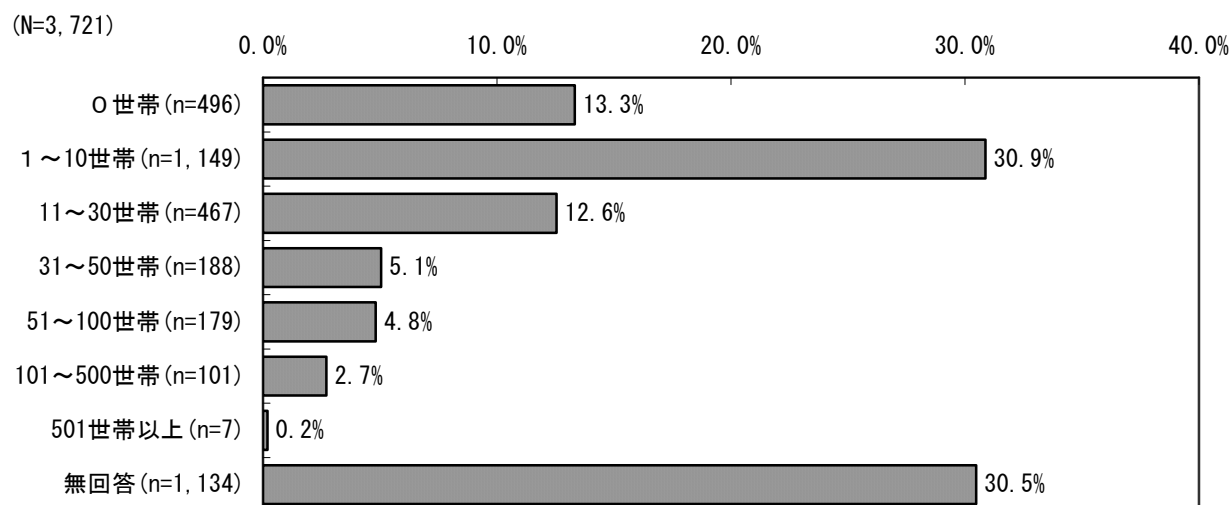


図 地域別 未加入世帯数



2 自治会・町内会の運営について

(1) 規約（会則）

規約（会則）についてみると、「規約（会則）がある」は66.9%、「規約（会則）がない」は29.0%となっている。

地域別にみると、「規約（会則）がある」は伏見区（醍醐支所管内）で94.1%と最も多く、次いで西京区（洛西支所管内）（92.6%）となっている。

大きな傾向としては、山科区や伏見区（醍醐支所管内）、西京区（洛西支所管内）などの新たに大きな団地や新興住宅街が多い行政区では、比較的新しく自治会が形成されたことも考えられ、最初から規約が整備されていたと考えられる。

一方、北区や上京区、中京区、下京区などは、古くから自治会や町内会が形成されていたため、規約が未整備なままで、現在に至っていると推測される。

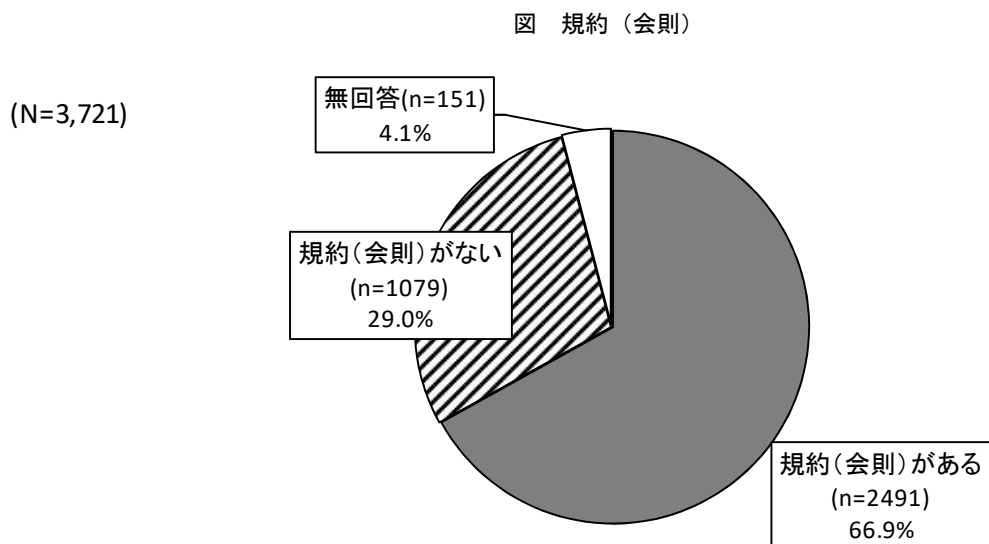
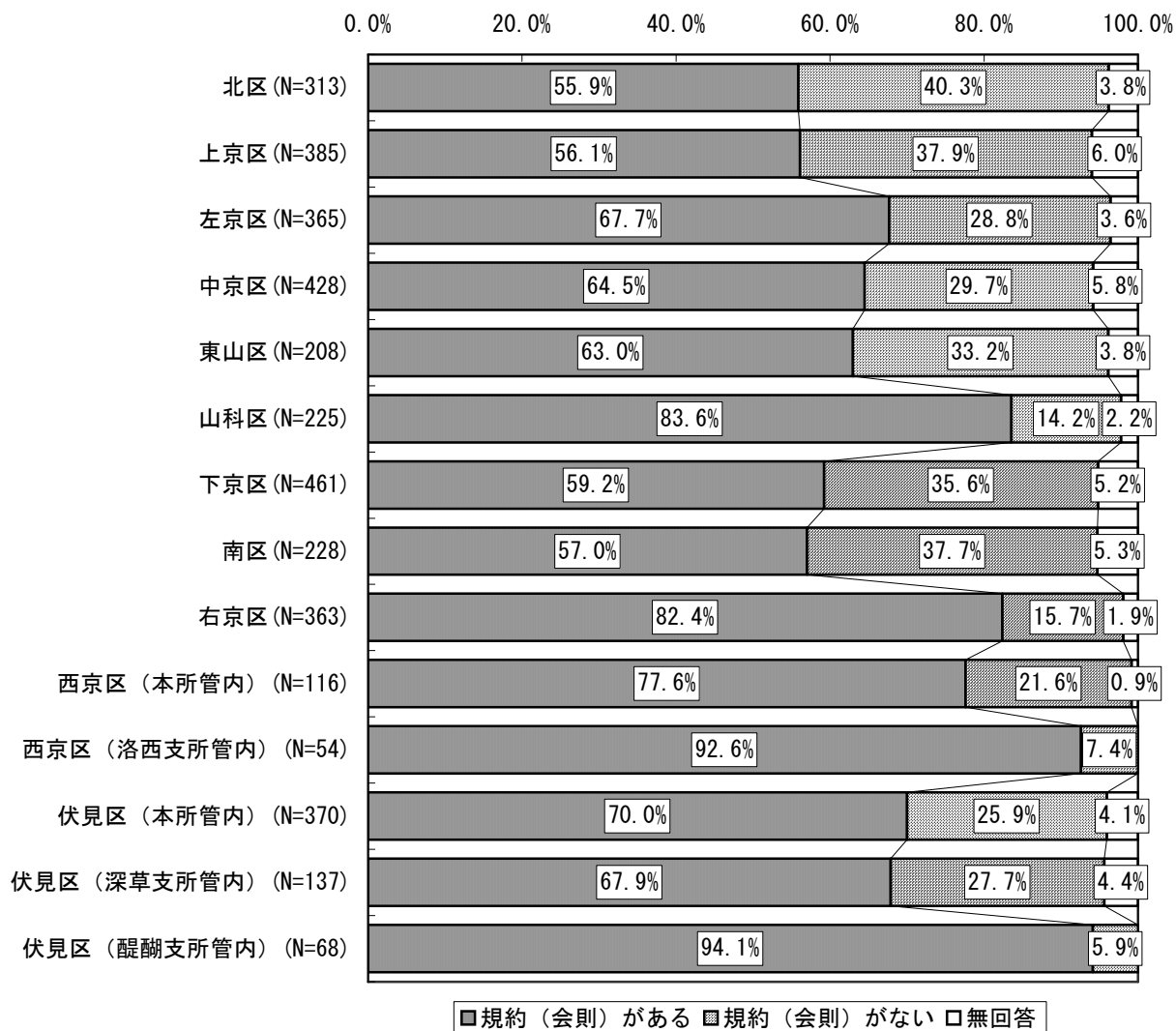


図 地域別 規約（会則）



（２）総会の回数

総会の回数をみると、「年１回」が51.6%で最も多く、次いで「無し」（18.5%）となっている。年１回以上の総会を開催している自治会は全体の８割弱となり大半の自治会で総会を開催していることとなっている。

地域別にみると、年２回以上（「年２回」「年３回」「年４回以上」の合計）が最も多いのは山科区（53.8%）で、次いで右京区（42.7%）、西京区（本所管内）（39.7%）などが総会の回数が多くなっている。逆に、年１回以下（「無し」と「年１回」の合計）が最も多いのは上京区（83.6%）となっている。

中でも、総会の回数の「無し」が最も多いのは北区の29.4%で、次いで上京区（22.1%）、西京区（本所管内）（21.6%）などとなっている。

図 総会の回数

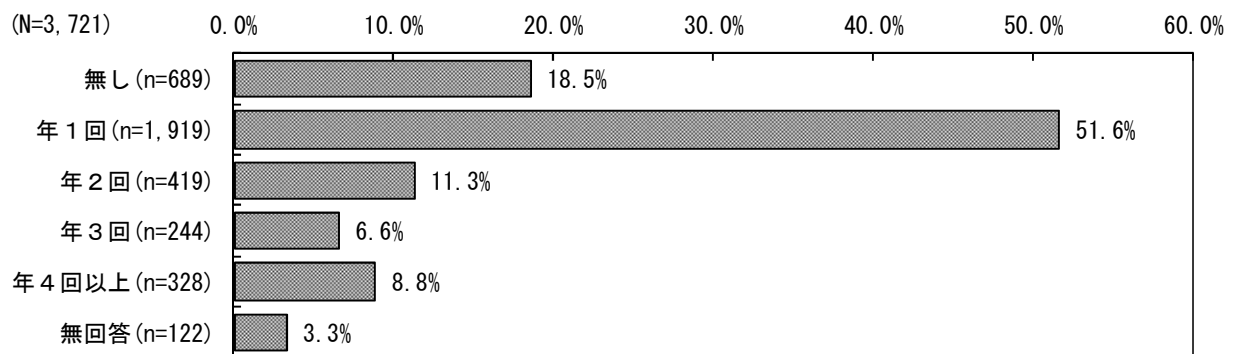
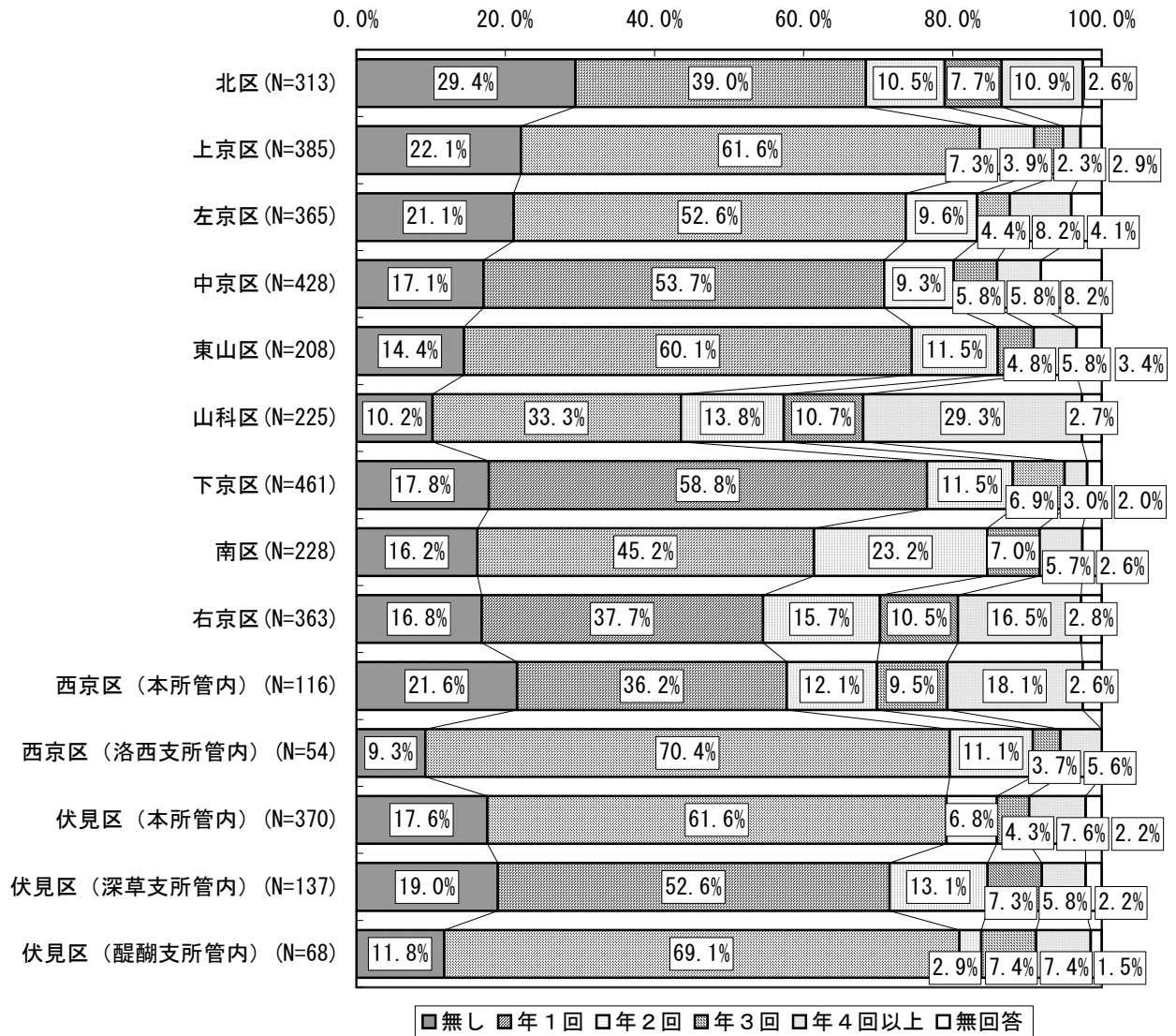


図 地域別 総会の回数



（３）会長の選出方法

会長の選出方法をみると、「輪番制」が43.2%で最も多く、次いで「役員による互選」（22.5%）、「総会での選挙」（15.5%）などとなっている。

地域別にみると、西京区（洛西支所管内）では「抽選」、伏見区（醍醐支所管内）では「役員による互選」、それ以外の地区では「輪番制」がそれぞれ最も多くなっている。

その他の具体的記述であがっていた会長の選出方法として多かったのは、「話し合い」や「現会長の推薦」、「立候補」などとなっている。

図 会長の選出方法（複数回答）

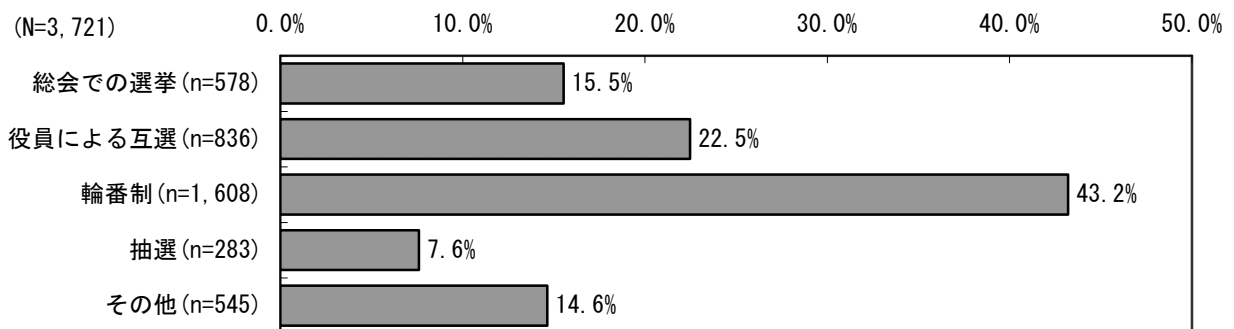
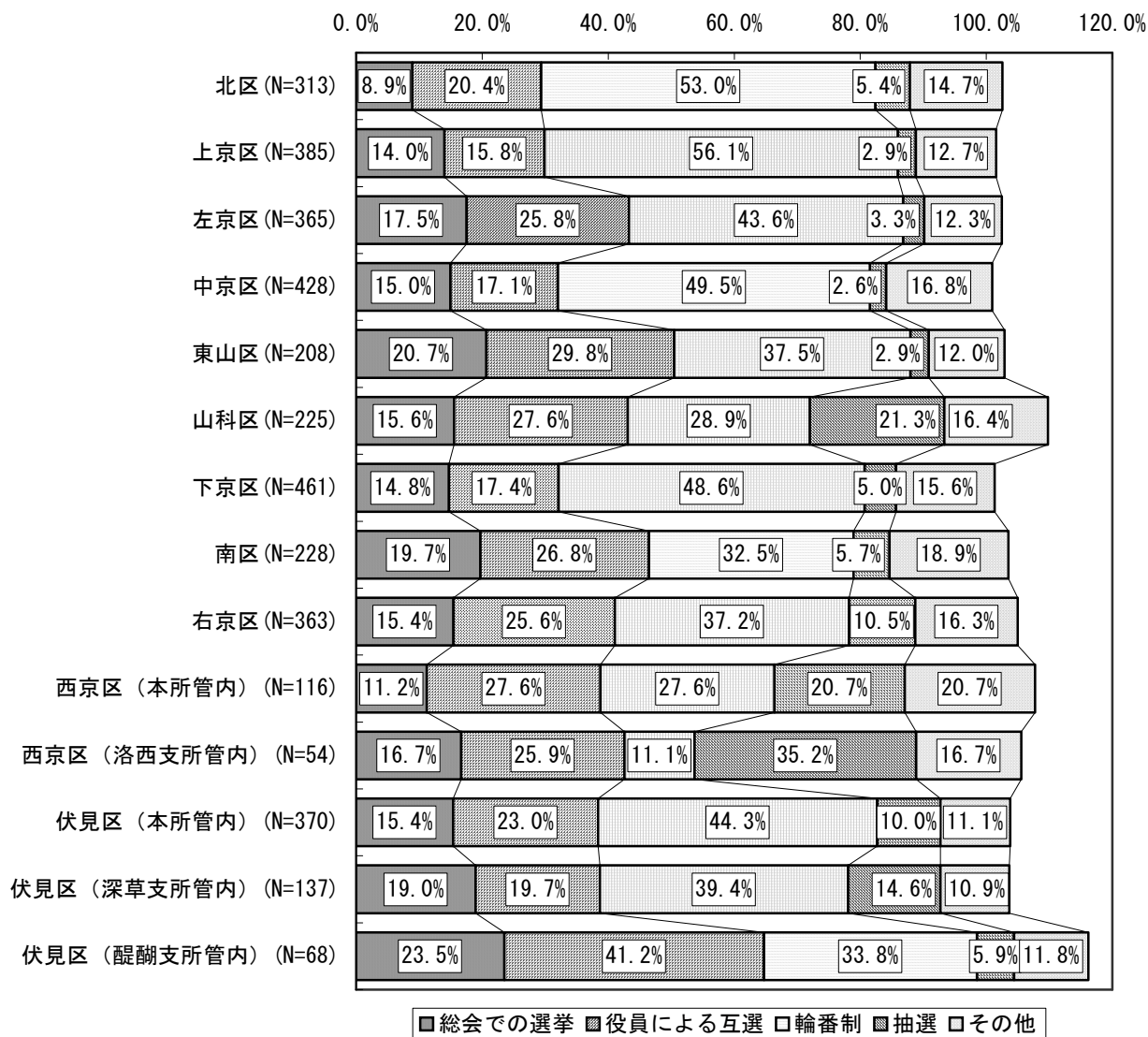


図 地域別 会長の選出方法（複数回答）



（４）総会などの会場

総会などの会場をみると、「その他」が25.0%で最も多く、次いで「学区の集会所」（22.5%）、「会長などの個人宅」（19.5%）などとなっている。

その他の具体的な会場の内容としては「飲食店や喫茶店」「お寺や神社」などが挙げられている。

地域別にみると、西京区（洛西支所管内）と伏見区（醍醐支所管内）では「会の集会所」が他の地域に比べて突出して多くなっている。この大きな要因として考えられるのは、これらの行政区では、大規模な団地が多く、あらかじめ団地の「集会所」などのスペースが整備されていることが一因と考えられる。

図 総会などの会場（複数回答）

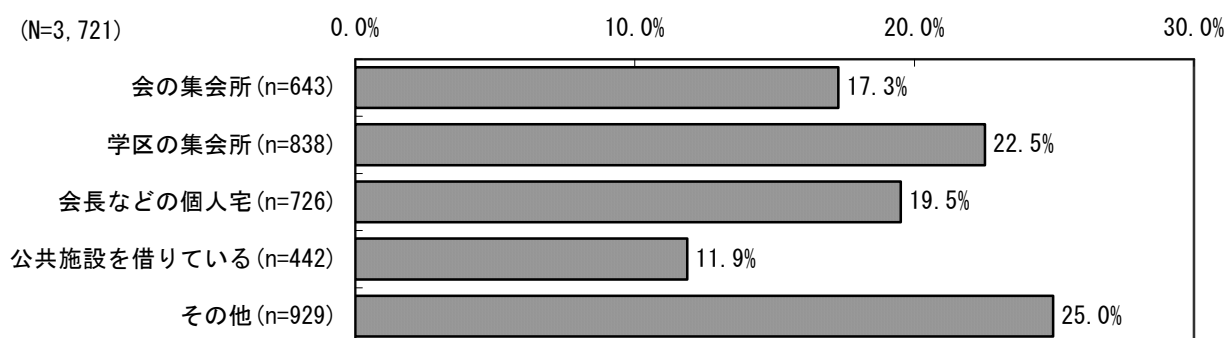
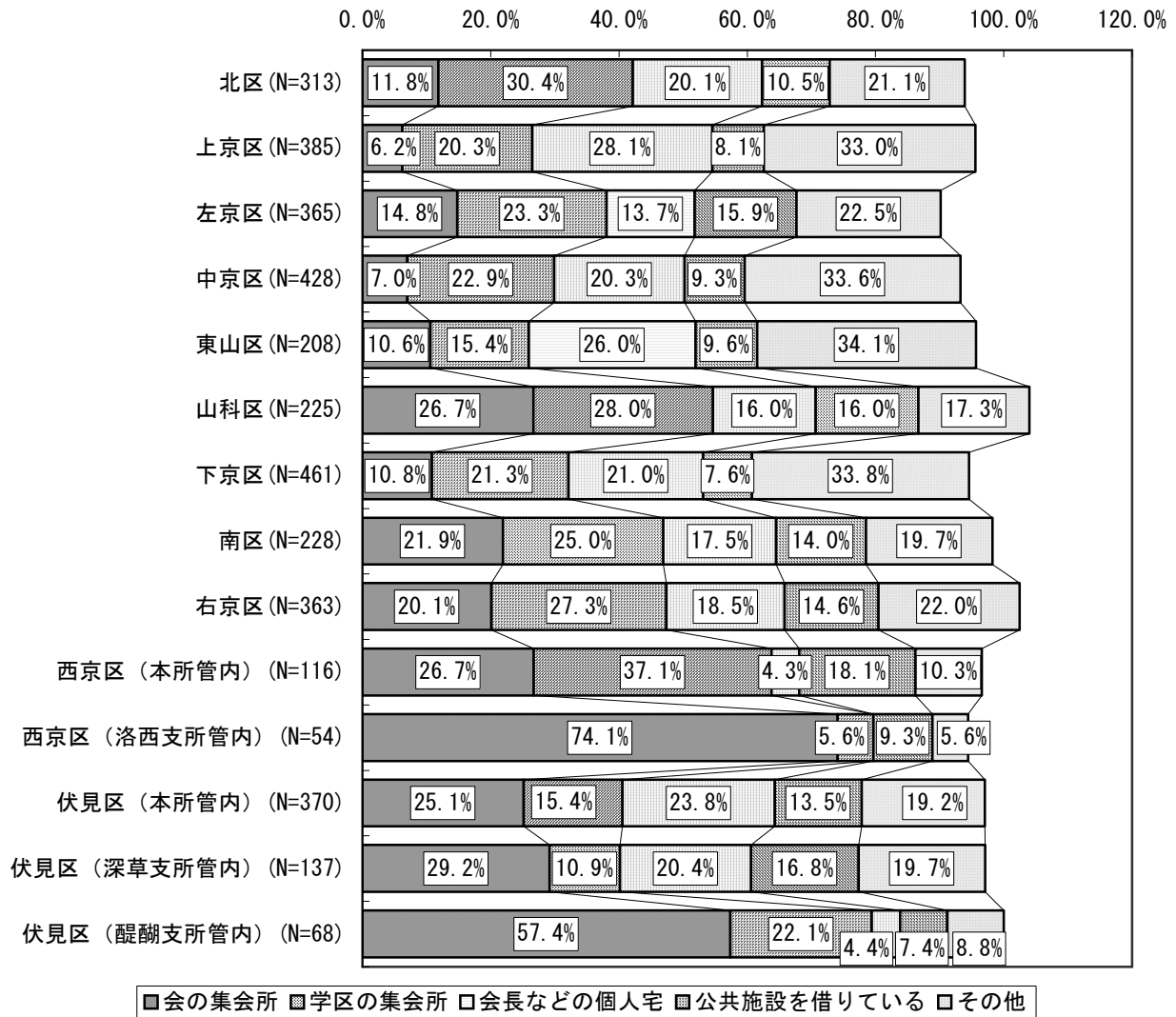


図 総会などの会場（複数回答）



(5) 1ヶ月あたりの会費

1ヶ月あたりの会費をみると、「301～500円」が44.2%で最も多く、次いで「101～300円」(29.8%)となっている。

地域別にみると、「101～300円」が多い行政区は、左京区の56.7%や伏見区（深草支所管内）の46.7%，南区の44.7%となっている。

次いで、「301～500円」は、伏見区（醍醐支所管内）の60.3%や西京区（本所管内）の56.9%，右京区の54.0%などとなっている。

「501～700円」は、西京区（洛西支所管内）の18.5%や下京区の16.7%，中京区の16.1%などが多くなっている。

図 1ヶ月あたりの会費

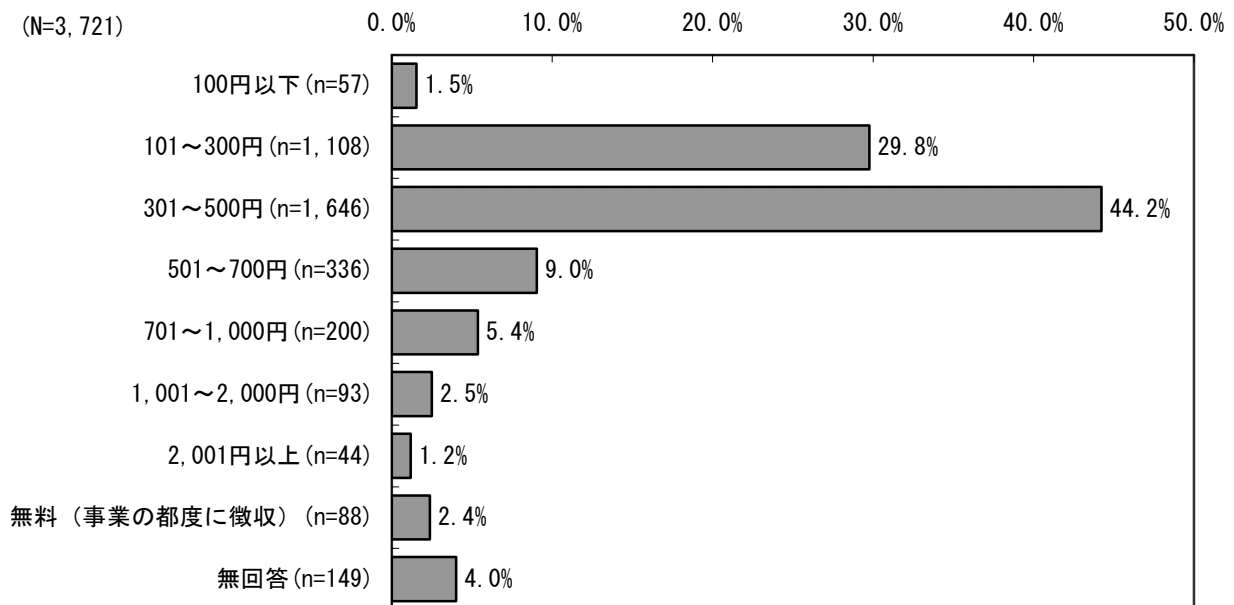
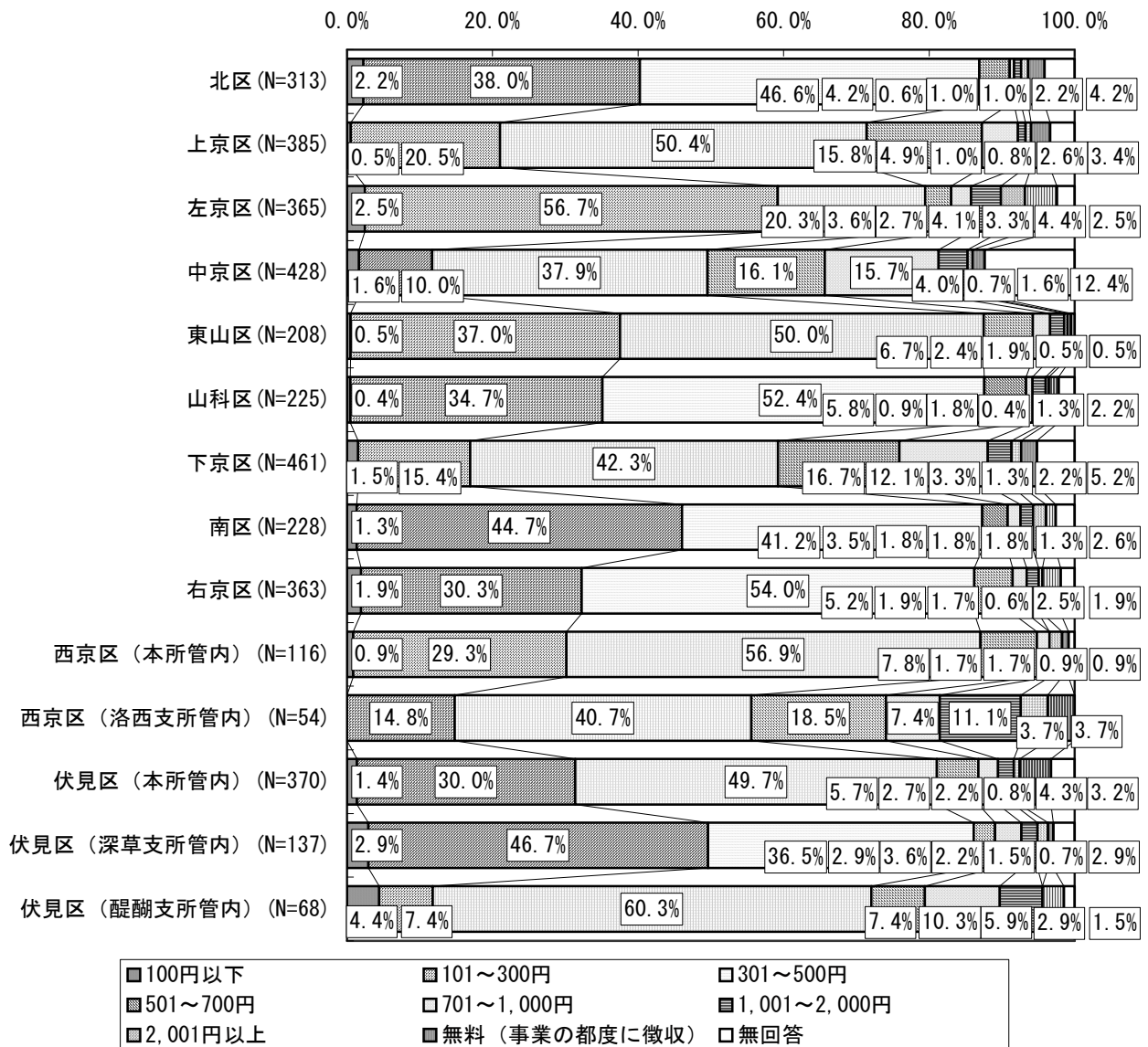


図 地域別 1ヶ月あたりの会費



（６）会費の減免

会費の減免についてみると、「マンション・アパート世帯」が9.3%で最も多くなっている。

地域別にみると、地域によって減免措置を行っているとの回答に大きな開きがあり、伏見区・西京区・山科区は減免措置があまりないという傾向がみられる。

これらの行政区では、マンションで1つの自治会を構成しているところも多く、減免対象としていないと考えられる。

また、上京区や中京区、東山区、下京区などでは、「マンション・アパート世帯」を減免対象としているとの回答が多くなっているが、これらの行政区では近年、マンションの建設が急増していることもあり、自治会の維持・活性化を図るためにも、マンション世帯の減免を考え直して、自治会への加入促進を考えていく必要もある。

学生への減免措置は、北区や左京区でみられ、従来から学生の多い土地柄を反映しているといえる。

また、減免措置のその他の具体的な対象としては、「生活保護世帯」や「飲食店などの店舗」「入院などでの長期不在の世帯」などが多くなっている。

図 会費の減免（複数回答）

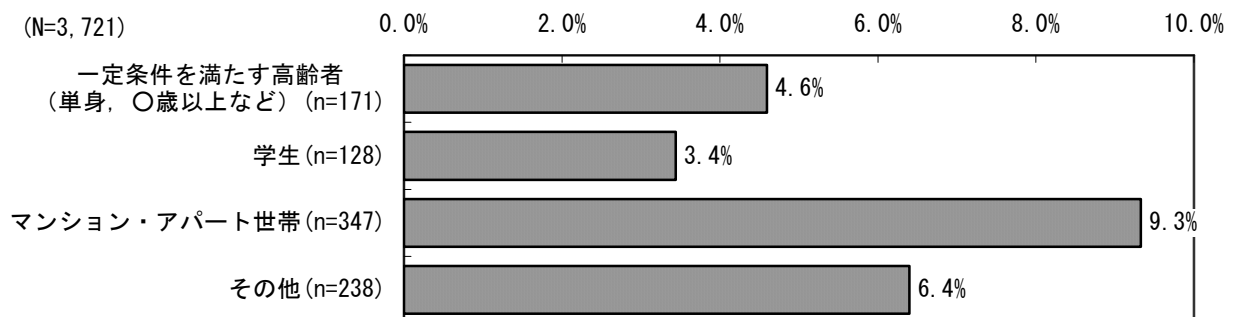
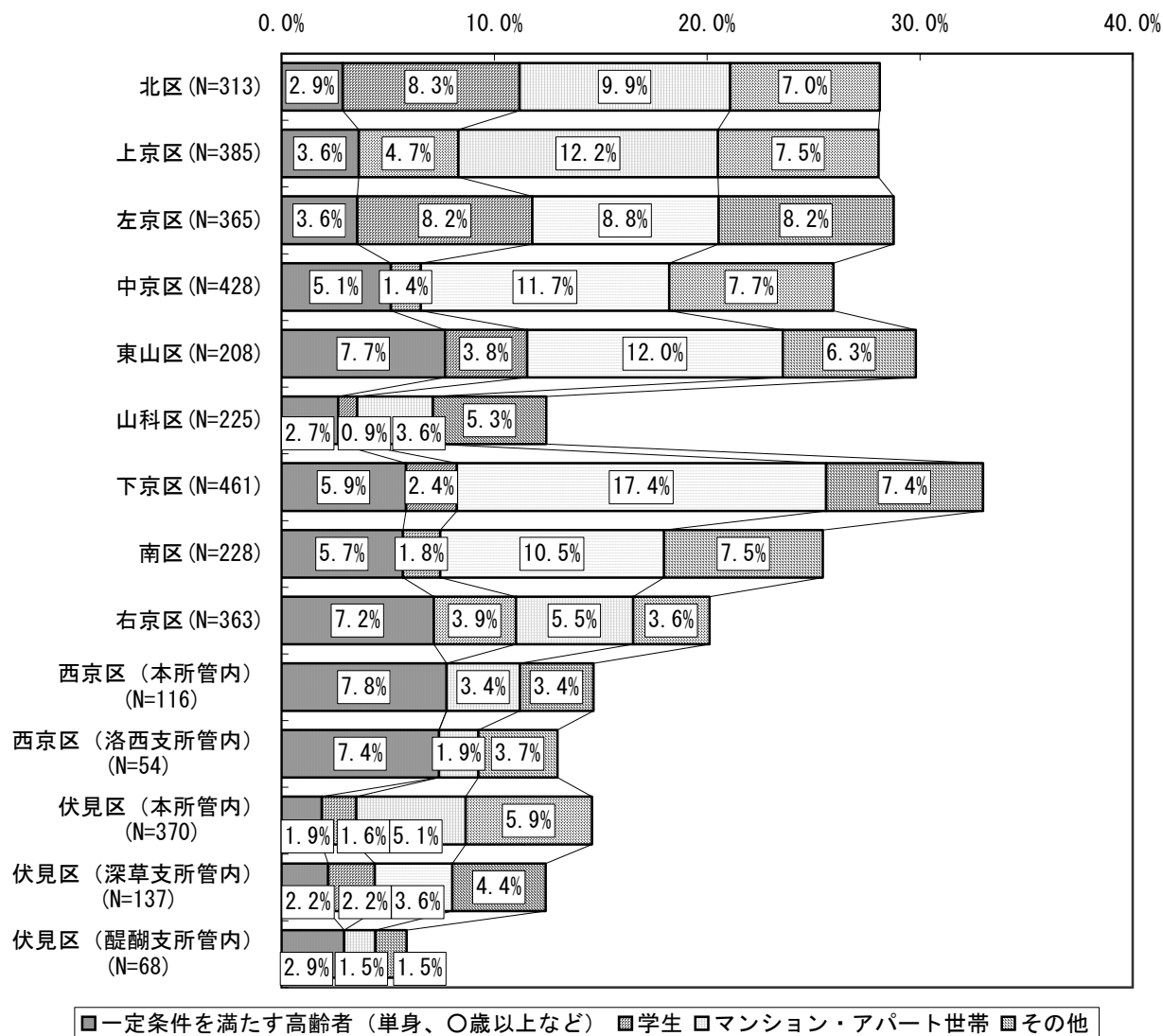


図 地域別 会費の減免（複数回答）



(7) 会費の根拠規定

会費の根拠規定をみると、「規約」が51.3%で最も多く、次いで「会計規則」(15.9%)となっている。

地域別にみると、いずれの地域でも「規約」が最も多くなっているが、中でも、山科区や西京区(洛西支所管内)、伏見区(醍醐支所管内)が多くなっており、規約を制定していることとリンクしている状況がみられる。

図 会費の根拠規定

(N=3,721)

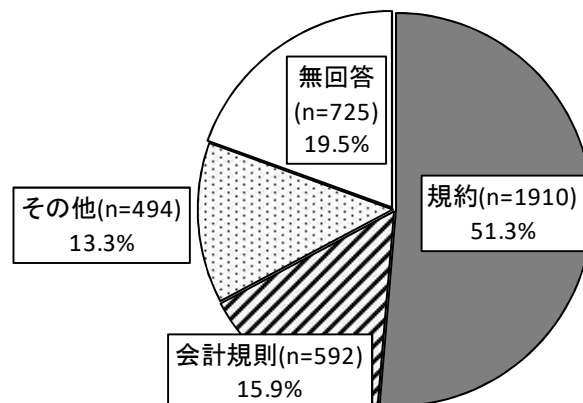
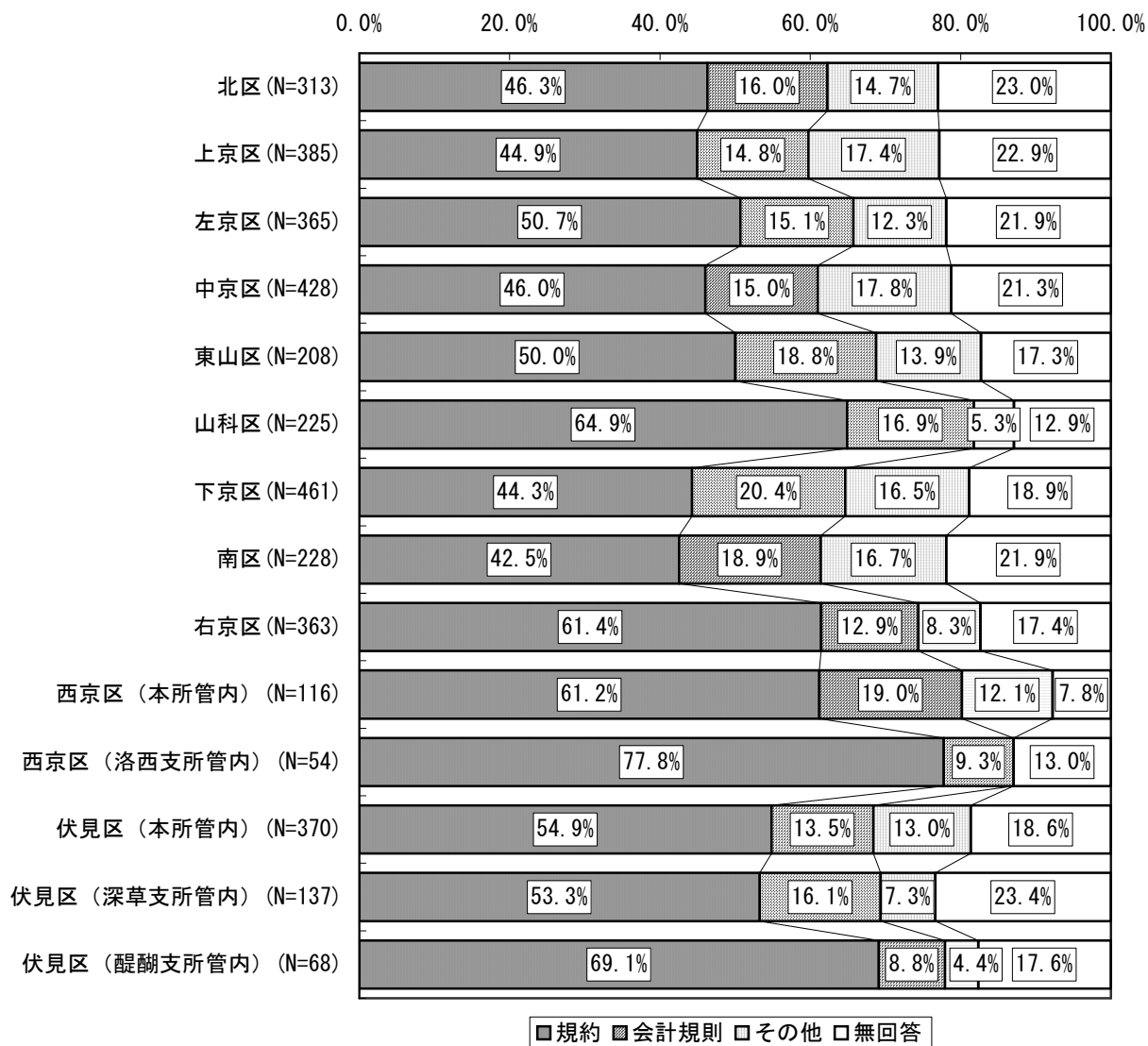


図 地域別 会費の根拠規定



(8) 予算・決算

予算・決算についてみると、「予算書・決算書を作成している」は85.4%、「作成していない」は10.2%となっている。

地域別にみると、山科区と西京区では「予算書・決算書を作成している」が9割を超えている。一方、中京区では「予算書・決算書を作成している」が8割を下回っていることから、規約の制定していることと大きな関係がみられる。

図 予算・決算

(N=3,721)

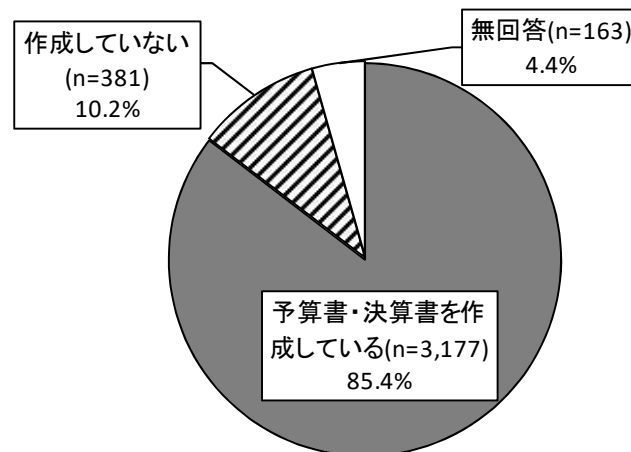
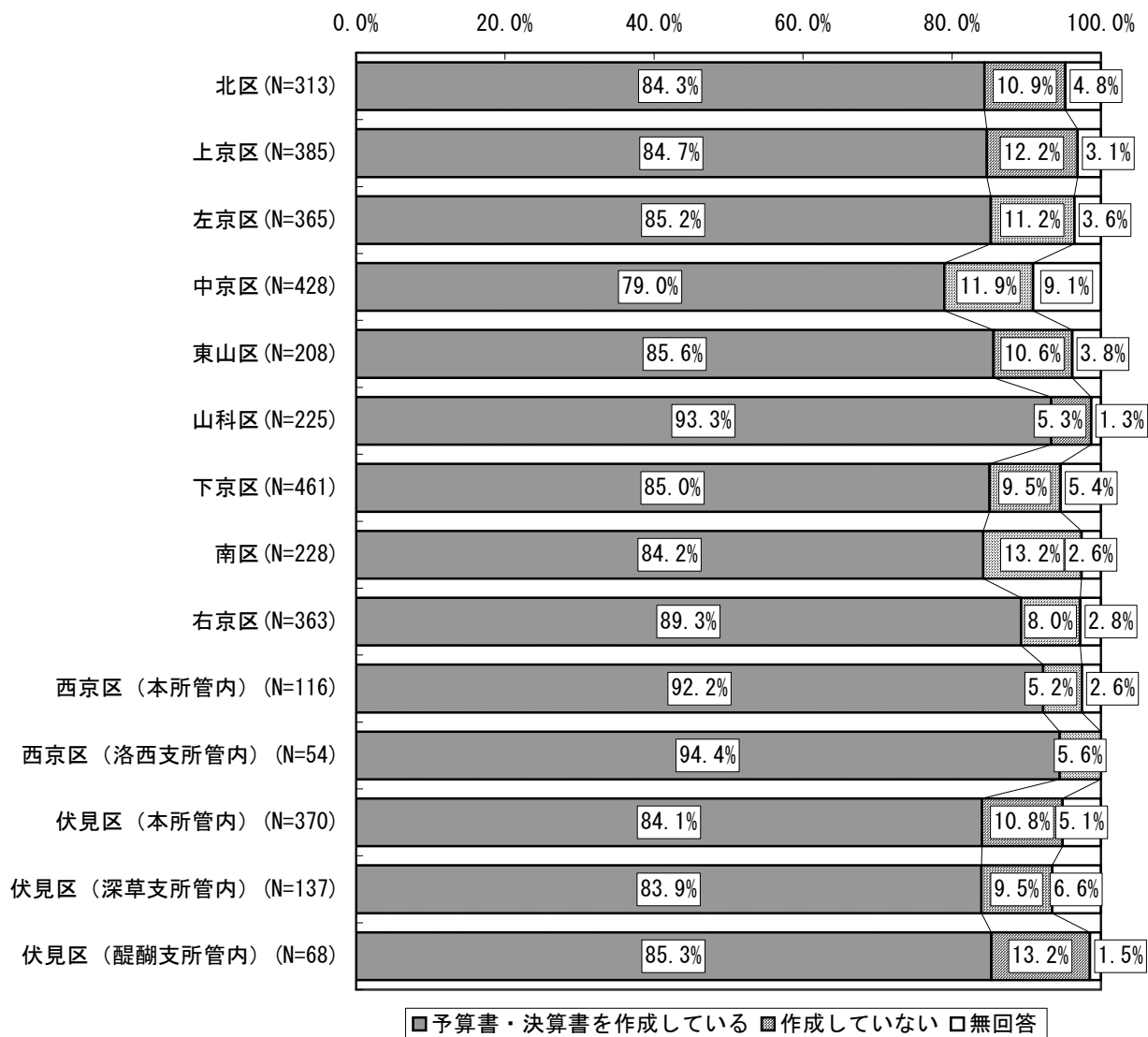


図 地域別 予算・決算



(9) 会計監査

会計監査についてみると、「監査役（監事）を決めて監査を行っている」が68.0%、「監査は行っていない」が26.4%となっている。

地域別にみると、「監査役（監事）を決めて監査を行っている」が多いのは西京区（洛西支所管内）（90.7%）、伏見区（醍醐支所管内）（88.2%）、山科区（86.2%）などとなっており、逆に「監査は行っていない」が多いのは、上京区や中京区、北区、下京区などとなっており、規約を制定している状況と同様の傾向をしめしており、規約に予算・決算の作成や会計監査の実施を定めて自治会運営に当たっている状況がよく現れている。

図 会計監査

(N=3,721)

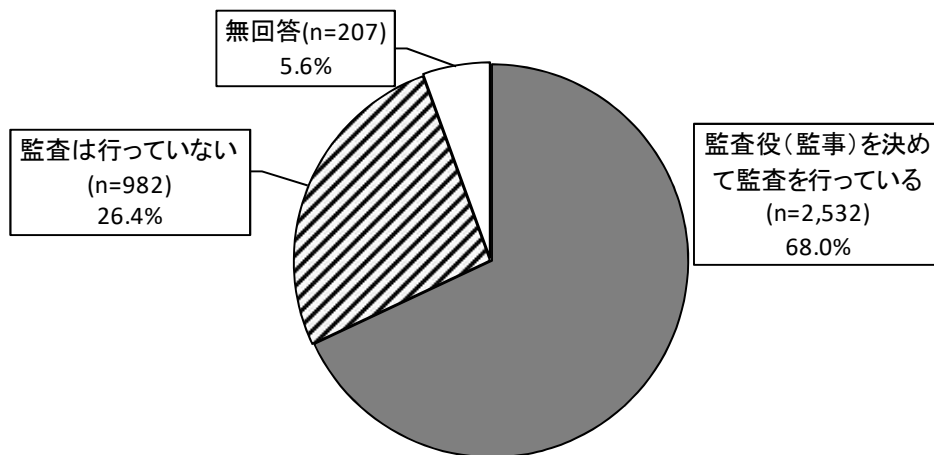
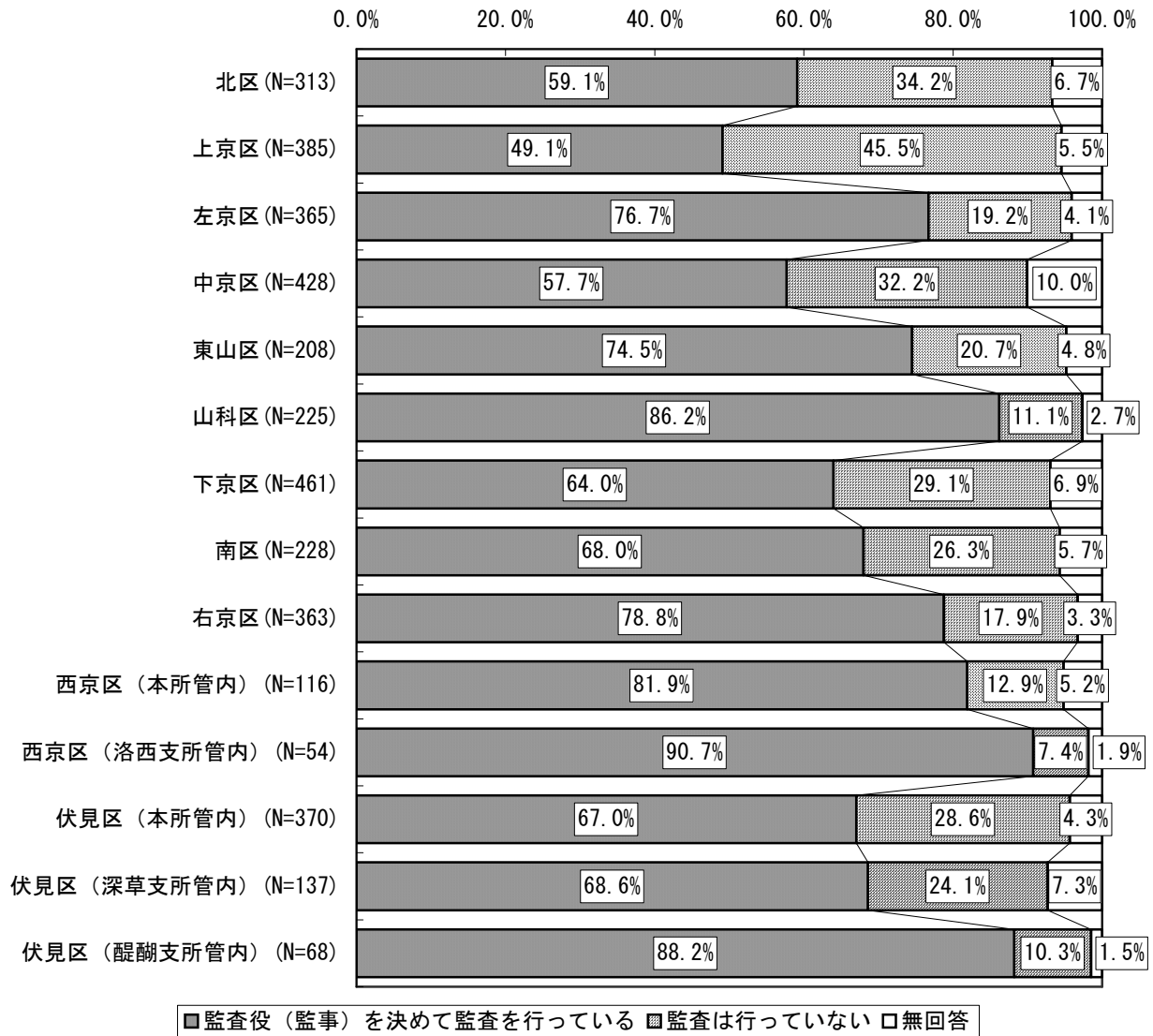


図 地域別 会計監査



3 マンション・アパート・公営住宅や事業者の取り扱いについて

自治会・町内会の区域内にあるマンション、アパート、公営住宅や事業者（企業、商店等）の取り扱いについてたずねた。ただし、マンション等の世帯のみで構成される自治会・町内会については回答不要としている。

（１）分譲マンション・アパート

分譲マンション・アパートの扱いをみると、無回答を除いて、「区域内に分譲マンションがない」が32.5%で最も多く、次いで「マンション等の世帯も戸建て世帯と同様に加入している」(12.1%)、「マンション等の世帯はどの自治会にも加入していない」(8.0%) などとなっている。

地域別にみると、「マンション等の世帯も戸建て世帯と同様に加入している」は、西京区（本所管内）が31.9%で最も多く、次いで山科区の18.7%、右京区の15.4%などとなり、マンションが多く建築されている行政区では、マンション世帯を除くと自治会が形成できないこともあり、同様の取扱をしているところが多くなっている。

また「マンション等で単独の自治会を作っている」は中京区や右京区、伏見区（本所管内）で多くなっており、近年のマンション建設の増加にあわせ、独自の自治会を作って対応してもらっている状況となっている。

図 分譲マンション・アパート

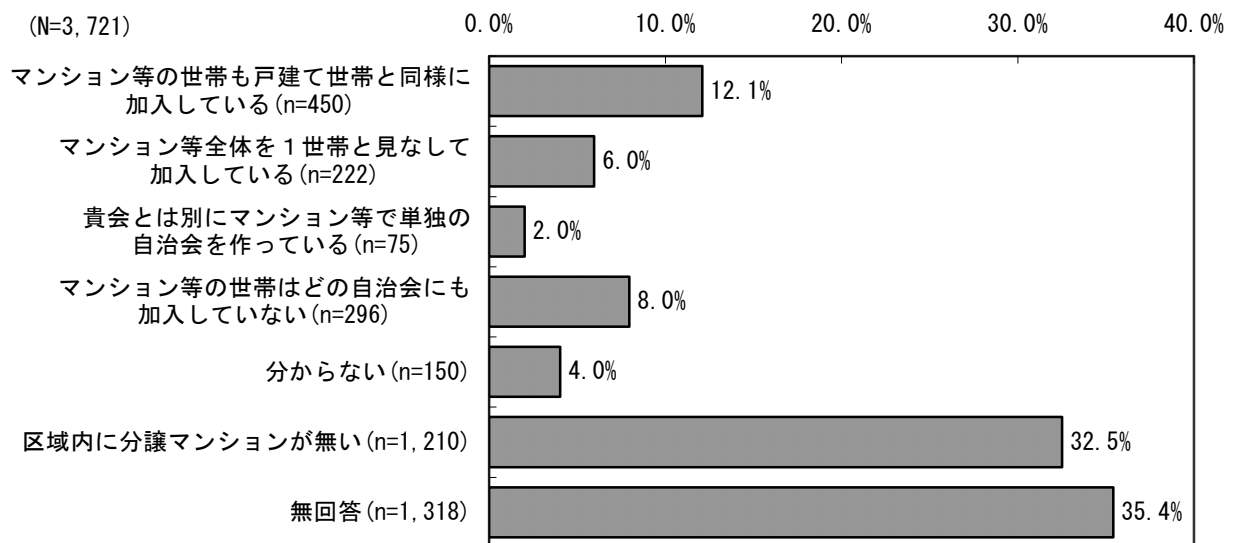
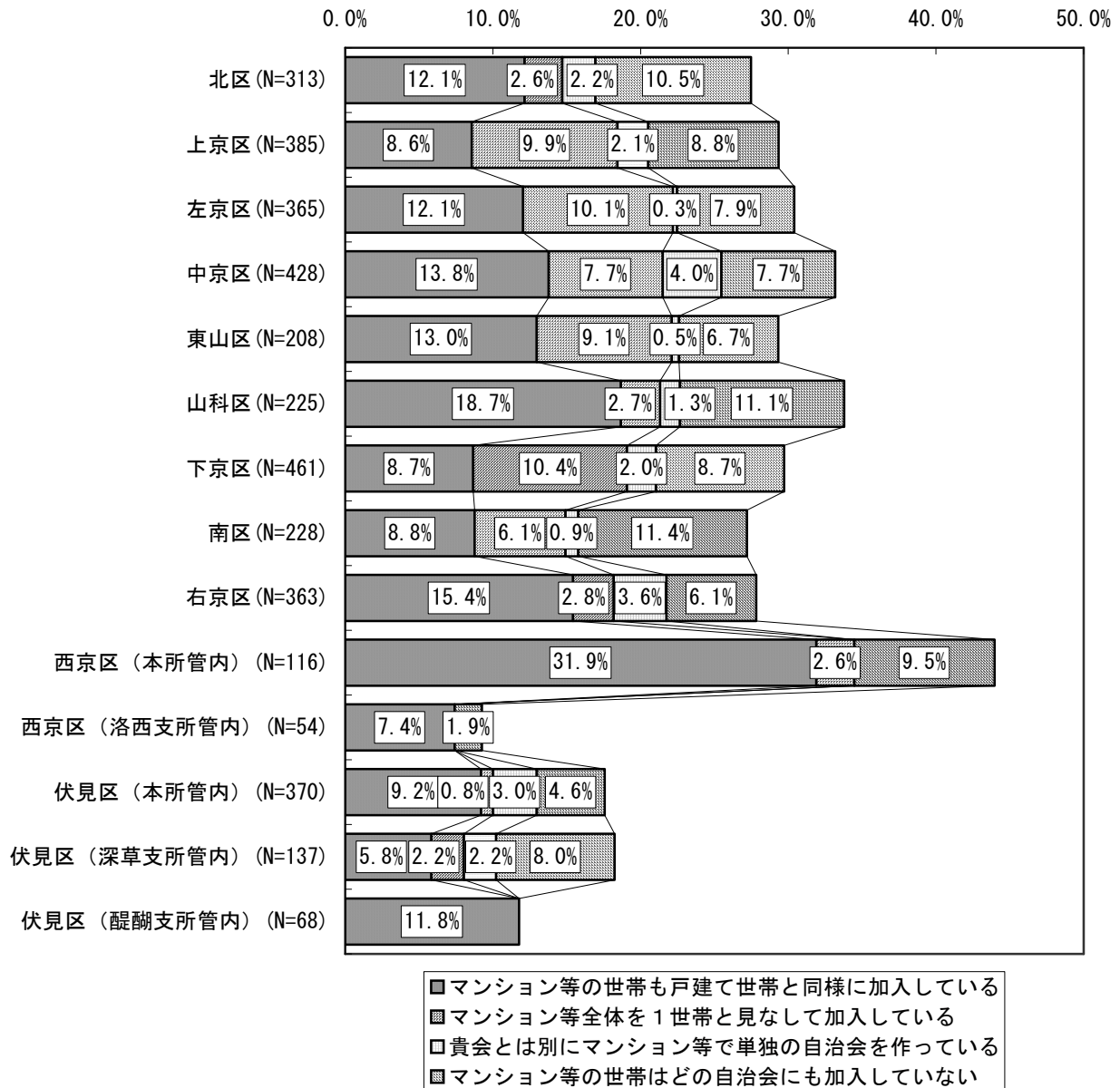


図 地域別 分譲マンション・アパート



注) 事業者等の取扱状況が分かりやすくするため、「分からない」や「区域内に分譲マンションが無い」「無回答」を除いてグラフ化をしている。

(2) 賃貸マンション・アパート・公営住宅

賃貸マンション・アパート・公営住宅の扱いをみると、無回答を除いて、「マンション等の世帯はどの自治会にも加入していない」が16.9%で最も多く、次いで「マンション等の世帯も戸建て世帯と同様に加入している」(16.6%),「区域内に賃貸マンションが無い」(13.7%) などとなっている。

地域別にみると、「マンション等の世帯も戸建て世帯と同様に加入している」が多い行政区は、西京区（本所管内）の51.7%となっている。

また、「マンション等全体を1世帯と見なして加入している」は、上京区の21.8%や下京区の21.3%, 東山区の21.2%が多くなっている。

「マンション等の世帯はどの自治会にも加入していない」は、伏見区（深草支所管内）の23.4%や山科区の21.8%, 北区の20.4%が多くなっている。

図 賃貸マンション・アパート・公営住宅

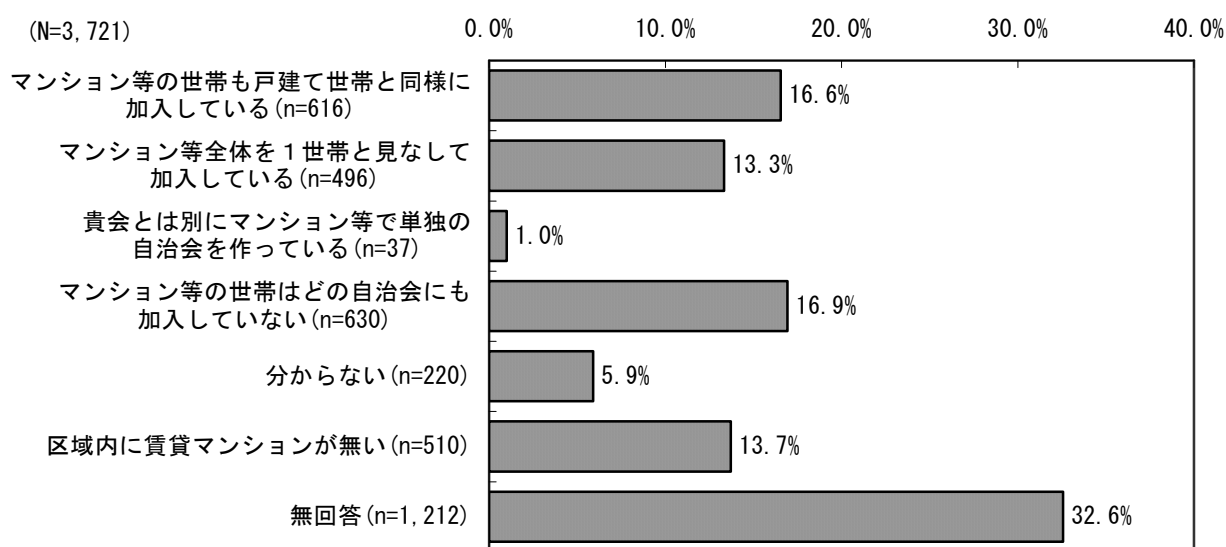
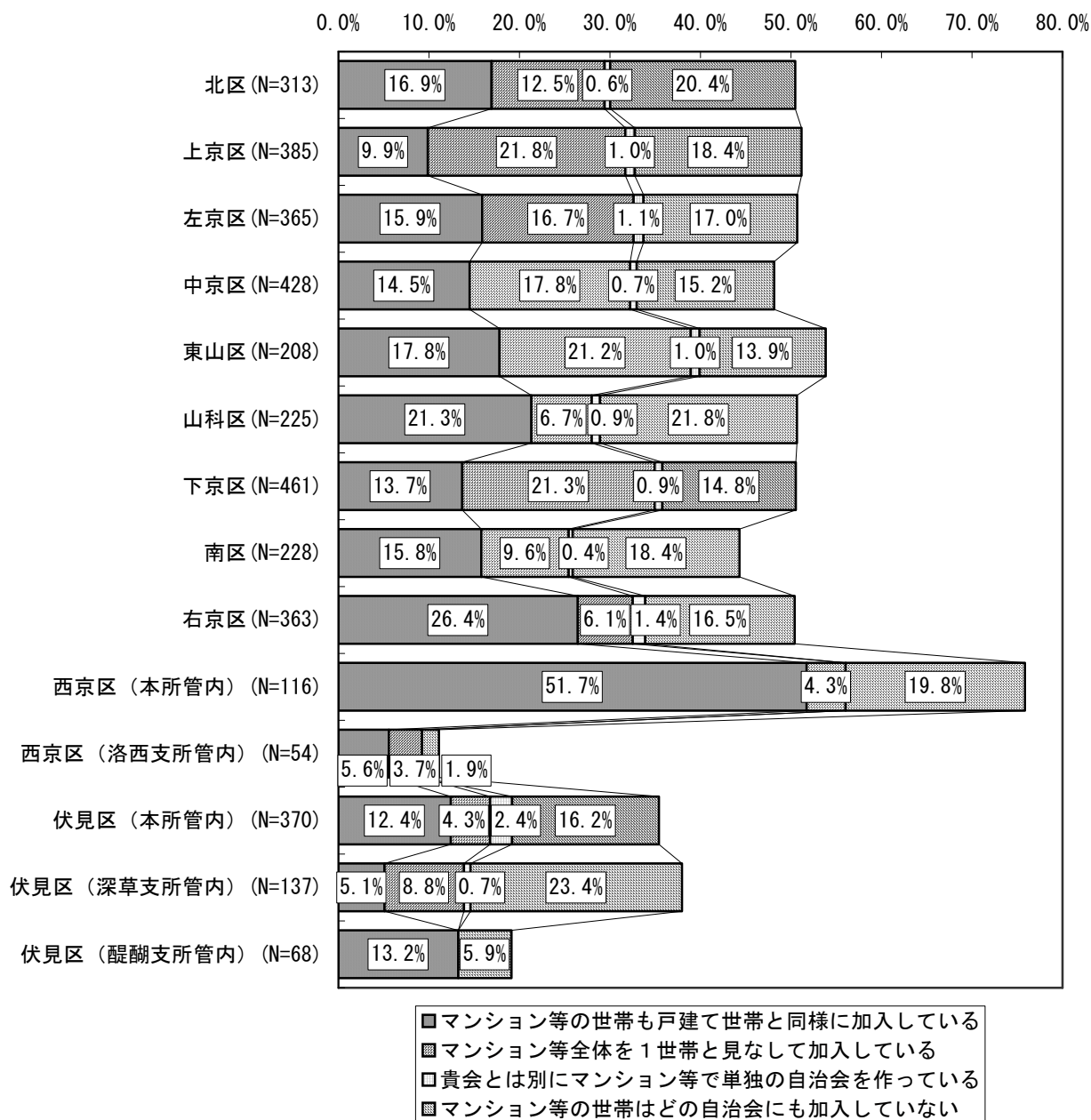


図 地域別 賃貸マンション・アパート・公営住宅



注) 事業者等の取扱状況が分かりやすくするため、「分からない」や「区域内に分譲マンションが無い」「無回答」を除いてグラフ化をしている。

（３）事業者（企業，商店街）

事業者（企業，商店街）の扱いをみると，無回答を除いて，「原則として全ての事業者に加入を呼びかけている」が37.8%で最も多く，次いで「区域内に事業者がない」（18.9%），「希望する一部事業者のみ加入している」（12.6%）などとなっている。

地域別にみると，西京区（洛西支所管内）・伏見区では「区域内に事業者がない」，それ以外の地域では「原則として全ての事業者に加入を呼びかけている」，がそれぞれ最も多くなっている。中でも，中京区の55.6%や下京区の53.8%，東山区の50.0%など事業所が多い行政区では，事業所も自治会の構成員として欠かせない存在となっている。

図 事業者（企業，商店街）

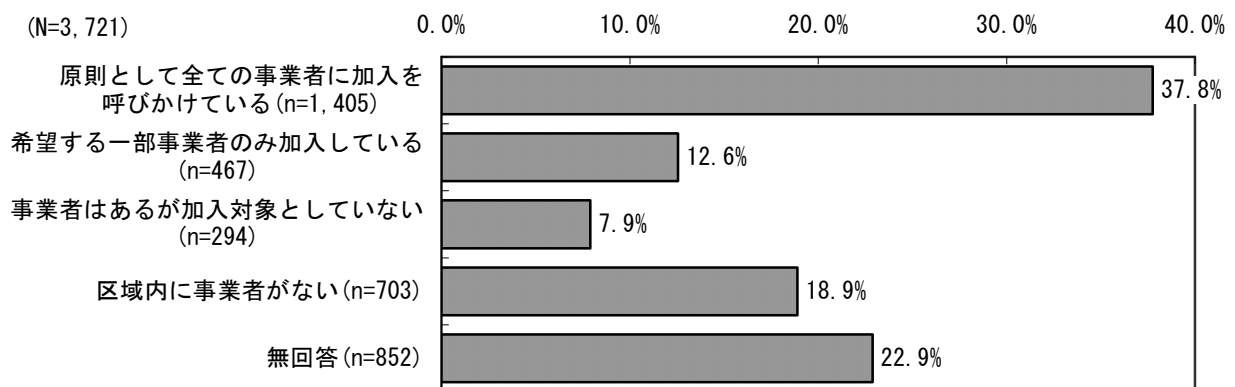
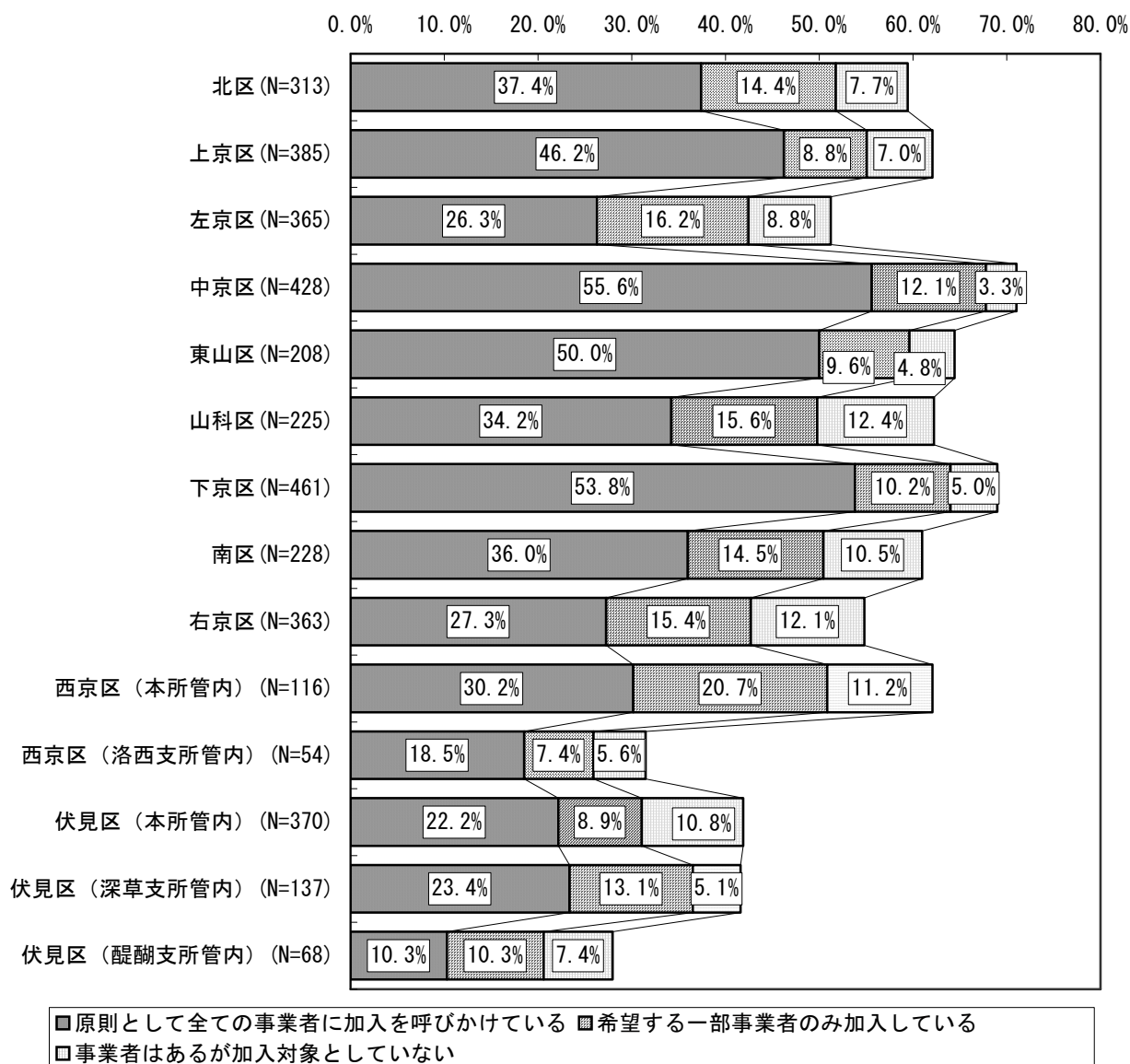


図 地域別 事業者（企業，商店街）



4 自治会・町内会の活動について

(1) 活動内容

自治会・町内会の各活動を町内会独自に行っているか、学区の活動に参加しているかをたずね、自治会・町内会の活動内容を「町内会活動のみ」と「町内会・学区活動の両方」「学区活動のみ」「無し」という活動主体別に構成して状況把握に努めた。

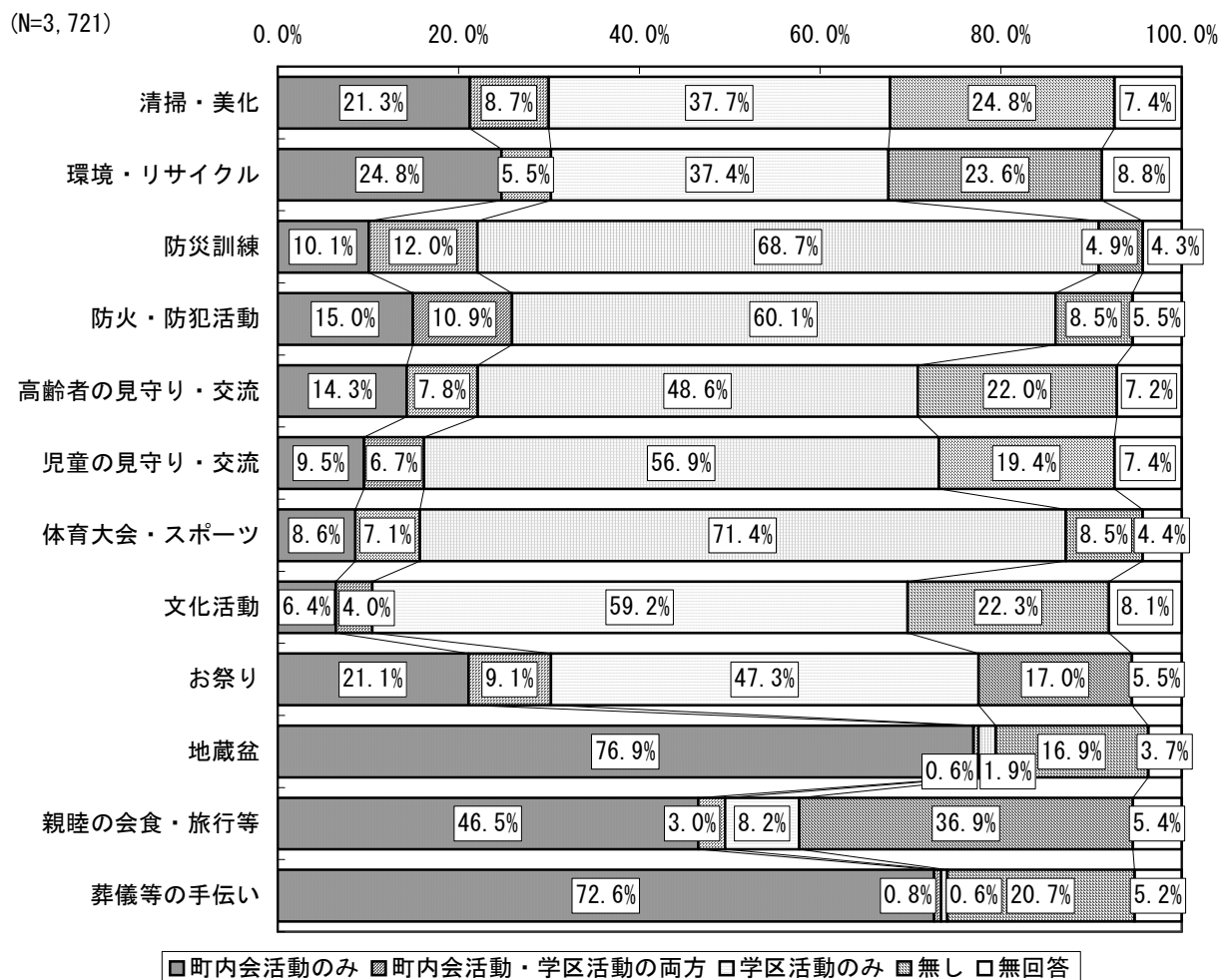
自治会・町内会の活動内容をみると、「町内会活動のみ」は「地藏盆」が76.9%で最も多く、次いで「葬儀等の手伝い」(72.6%)、「親睦の会食・旅行等」(46.5%) などとなっている。

「学区活動のみ」は「体育大会・スポーツ」が71.4%で最も多く、次いで「防災訓練」(68.7%)、「防火・防犯活動」(60.1%) などとなっている。

「町内会活動・学区活動の両方」が多い内容としては、「防災訓練」の12.0%、「防火・防犯活動」の10.9%がある。

また、「無し」が最も多いのは「親睦の会食・旅行等」(36.9%) となっている。

図 活動内容



○清掃・美化

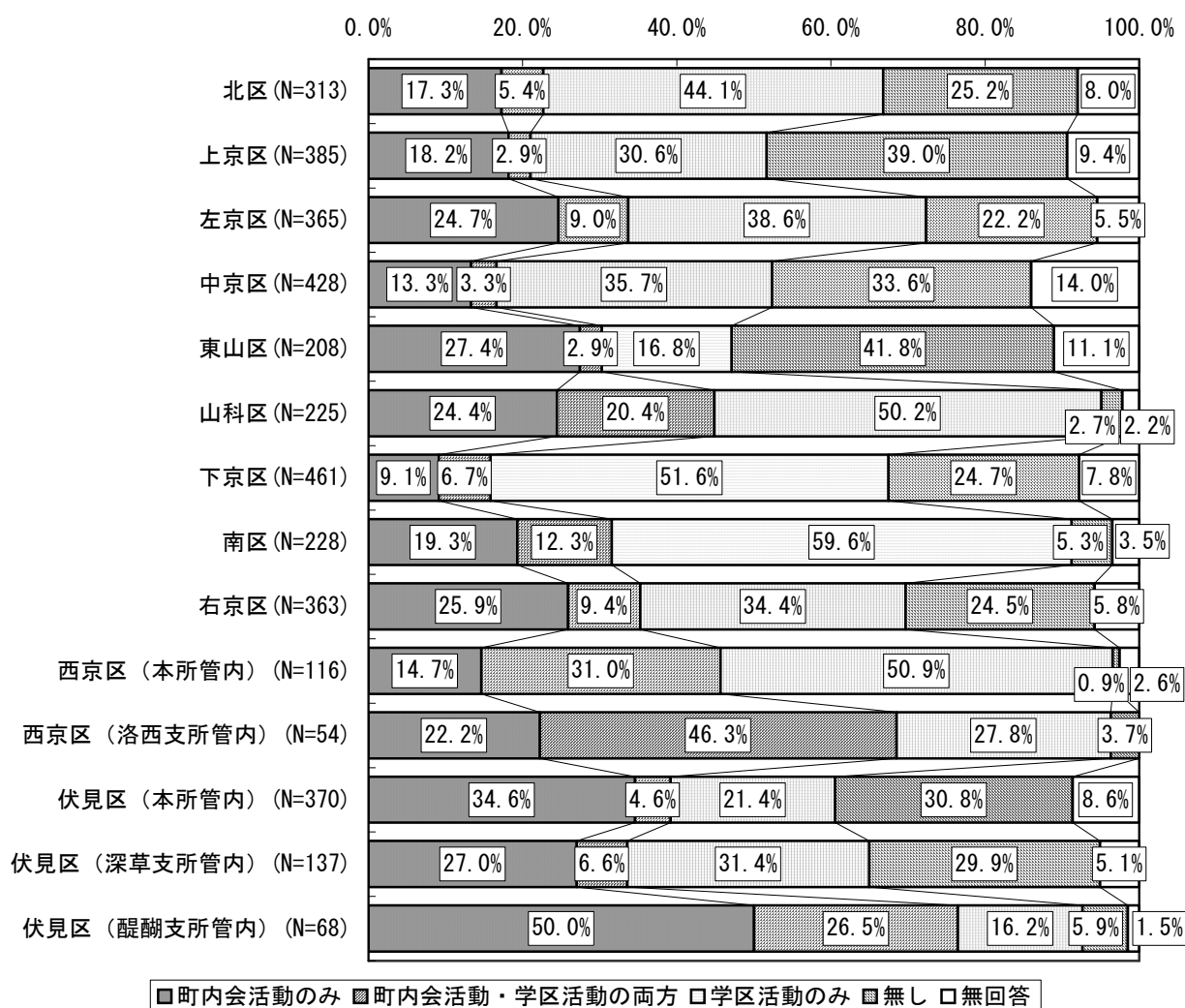
清掃・美化について、地域別にみると、「町内会活動のみ」が最も多いのは伏見区（醍醐支所管内）で50.0%，次いで伏見区（本所管内）（34.6%），東山区（27.4%）などとなっている。醍醐支所管内などでは、団地管理の一貫として団地町内会が清掃・美化活動に取り組んでいるとみられる。

「学区活動のみ」が最も多いのは南区で59.6%，次いで下京区（51.6%），西京区（本所管内）（50.9%）などとなっている。

「町内会活動・学区活動の両方」が最も多いのは、西京区（洛西支所管内）（46.3%）となっている。

また、「無し」が最も多いのは、東山区で41.8%，次いで上京区（39.0%），中京区（33.6%）などとなっており、「門掃き」で各戸が日常的に清掃していることや公園が少ないことに起因しているとみられる。

図 活動内容－清掃・美化－



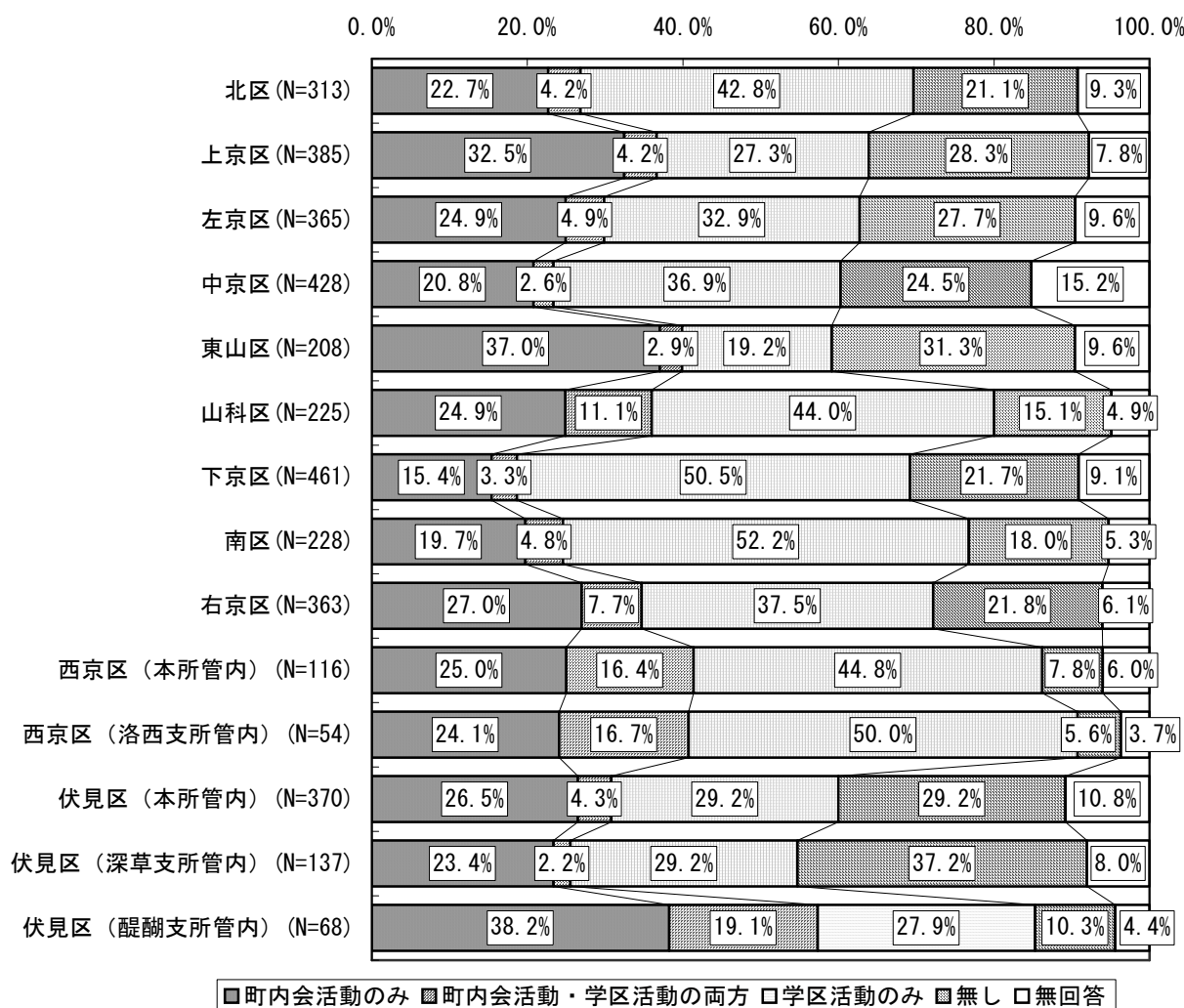
○環境・リサイクル

環境・リサイクルについて、地域別にみると、「町内会活動のみ」が最も多いのは伏見区（醍醐支所管内）で38.2%，次いで東山区（37.0%），上京区（32.5%）などとなっている。

「学区活動のみ」が最も多いのは南区で52.2%，次いで下京区（50.5%），西京区（洛西支所管内）（50.0%）などとなっている。南区や下京区、洛西支所管内では、学区主導の傾向がみられる。

「町内会活動・学区活動の両方」が最も多いのは、伏見区（醍醐支所管内）の19.1%となっている。

図 活動内容－環境・リサイクル－

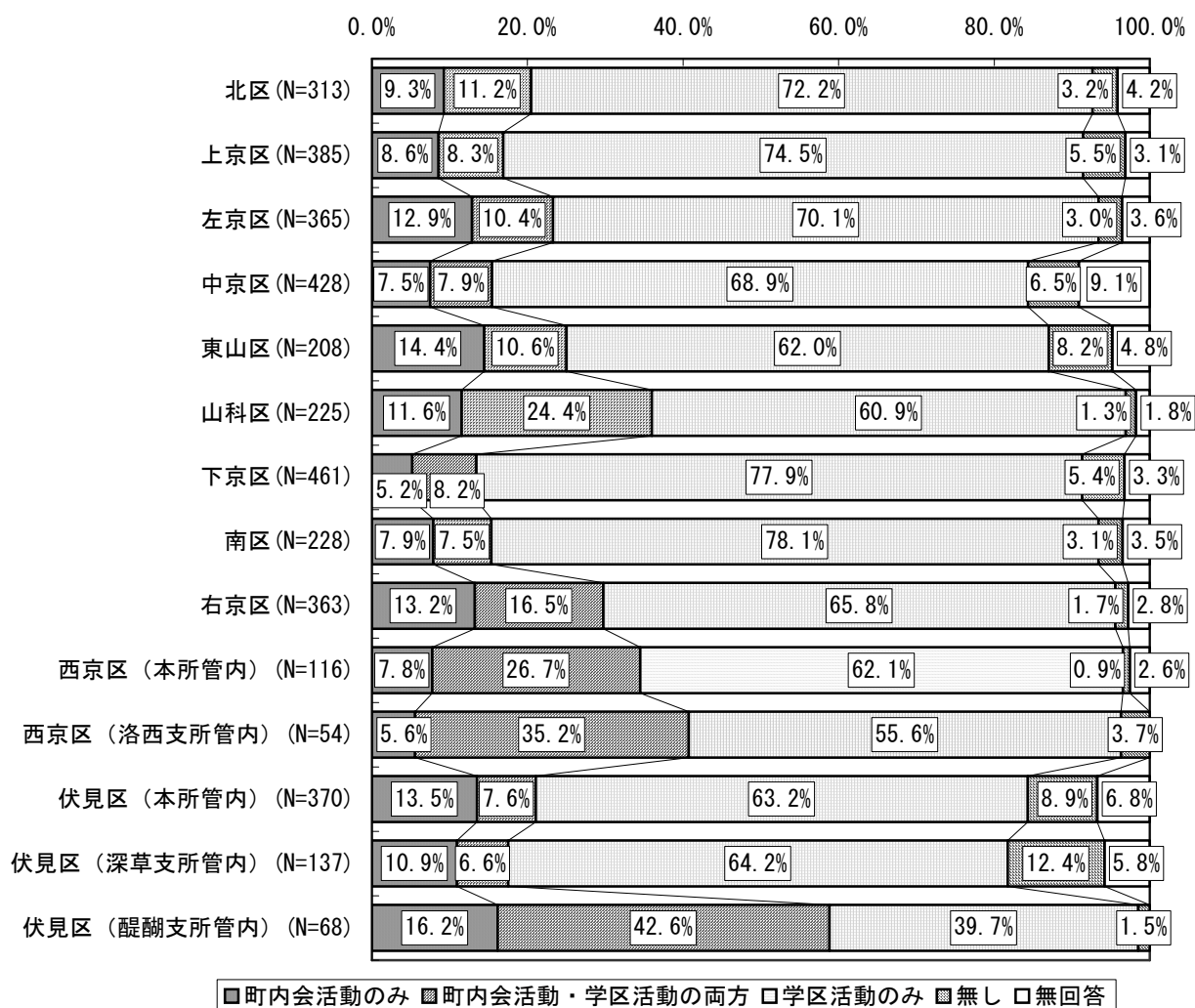


○防災訓練

防災訓練について、地域別にみると、「学区活動のみ」はほとんどの地域で6～7割以上となっており、広域での活動が多い事業となっている。その中で、伏見区（醍醐支所管内）（39.7%）と西京区（洛西支所管内）（55.6%）は他の地域に比べて少なくなっている。

逆に、「町内会活動・学区活動の両方」は、伏見区（醍醐支所管内）（42.6%）と西京区（洛西支所管内）（35.2%）で他の地域に比べて多くなっており、学区単位の地域での防災活動が浸透している状況がみられる。

図 活動内容－防災訓練－

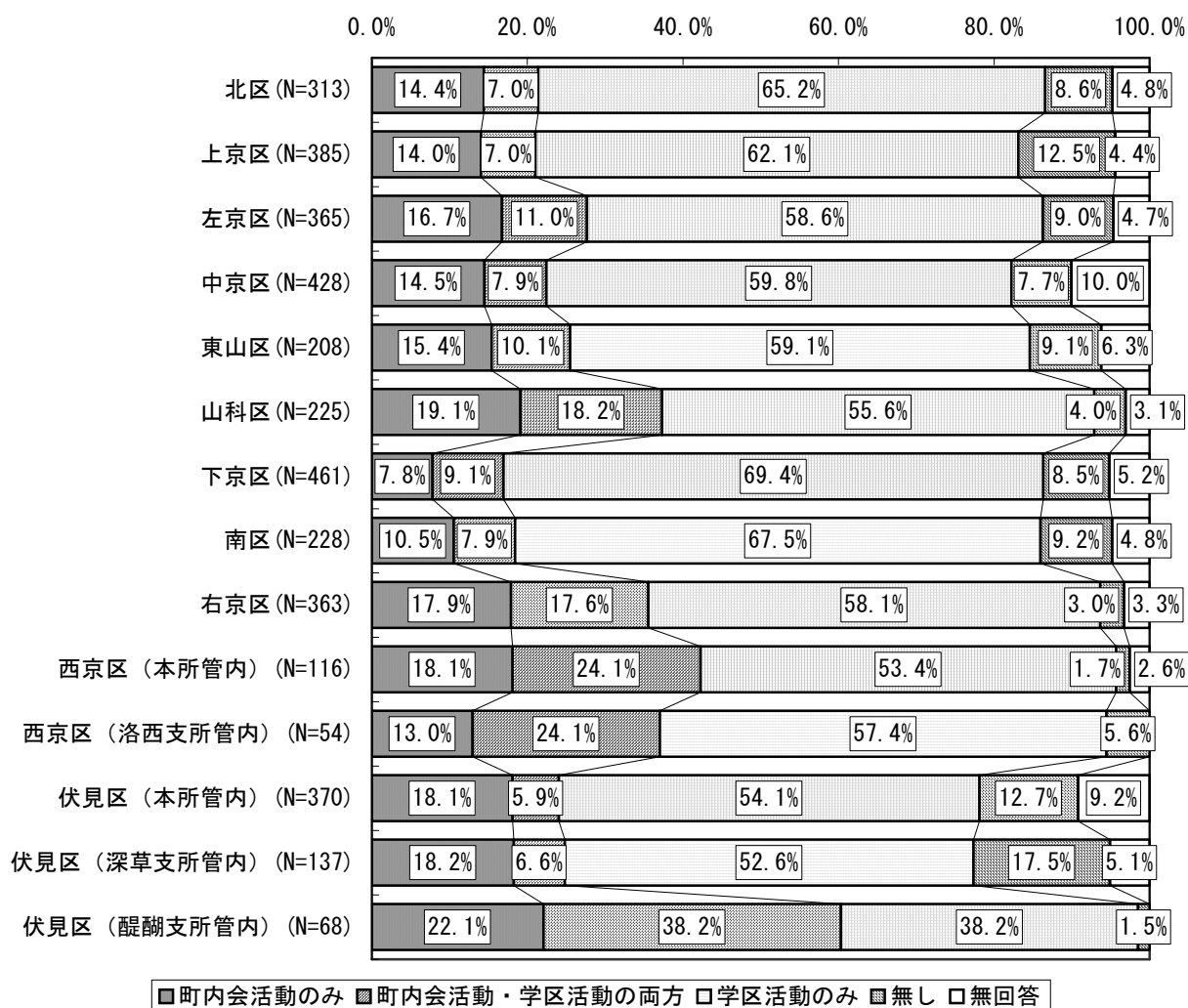


○防火・防犯活動

防火・防犯活動について、地域別にみると、「学区活動のみ」がほとんどの地域で5～6割以上となっており、防災訓練と同様に広域での取組となっているが、伏見区（醍醐支所管内）だけは38.2%と少なくなっている。

逆に、「町内会活動・学区活動の両方」は伏見区（醍醐支所管内）では38.2%と他の地域に比べて多くなっている。

図 活動内容－防火・防犯活動－



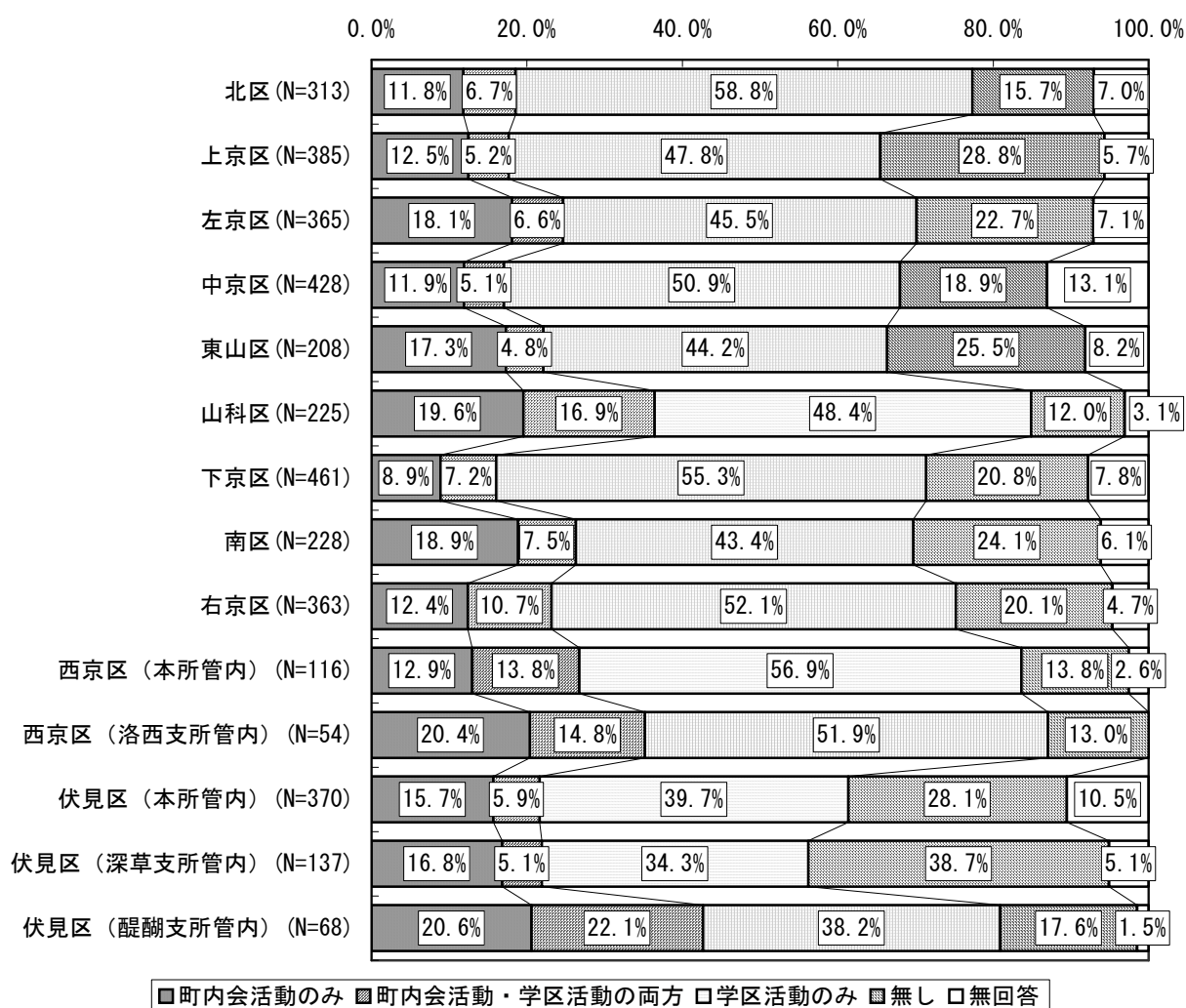
○高齢者の見守り・交流

高齢者の見守り・交流について、地域別にみると、「町内会活動のみ」が最も多いのは伏見区（醍醐支所管内）で20.6%，次いで西京区（洛西支所管内）（20.4%），山科区（19.6%）などとなっており，大規模な世帯数が多い自治会では，独自活動として，域内の高齢者の見守りや交流活動に取り組んでいる。

「学区活動のみ」が最も多いのは北区で58.8%，次いで西京区（本所管内）（56.9%），下京区（55.3%）などとなっており，一自治会の単独ではできにくい地域では，広域活動として実施している。

「町内会活動・学区活動の両方」が最も多いのは，伏見区（醍醐支所管内）の22.1%となっている。

図 活動内容－高齢者の見守り・交流－



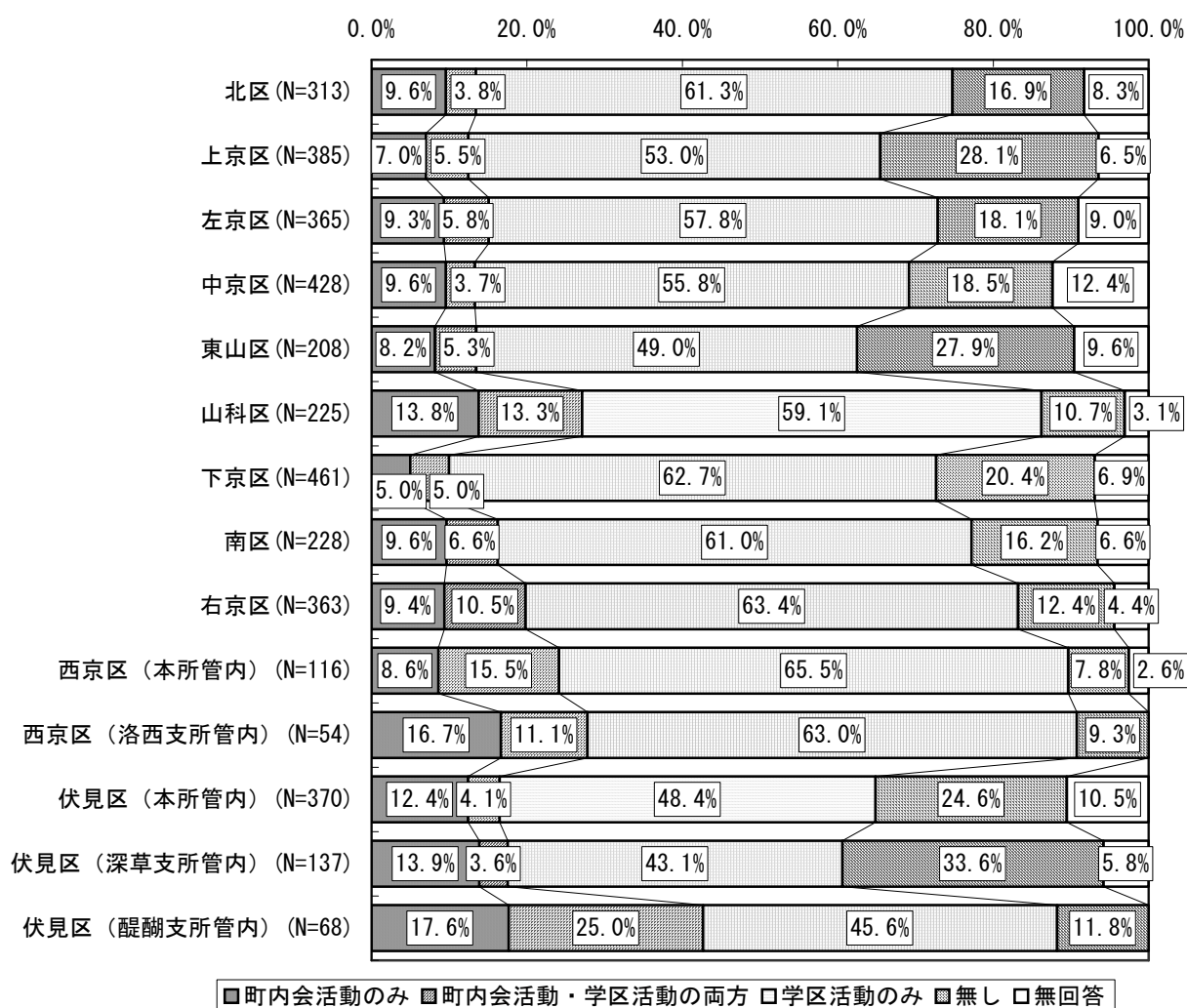
○児童の見守り・交流

児童の見守り・交流について、地域別にみると、「町内会活動のみ」が最も多いのは伏見区（醍醐支所管内）で17.6%，次いで西京区（洛西支所管内）（16.7%），伏見区（深草支所管内）（13.9%）などとなっており，高齢者の見守り事業と同様の傾向がみられる。

「学区活動のみ」が最も多いのは西京区（本所管内）で65.5%，次いで右京区（63.4%），西京区（洛西支所管内）（63.0%）などとなっており，これらの地域では，高齢者活動に比べて学区活動の割合が多くなっており，児童の通学区との兼ね合いが考えられる。

「町内会活動・学区活動の両方」が最も多いのは，伏見区（醍醐支所管内）の25.0%となっている。

図 活動内容－児童の見守り・交流－

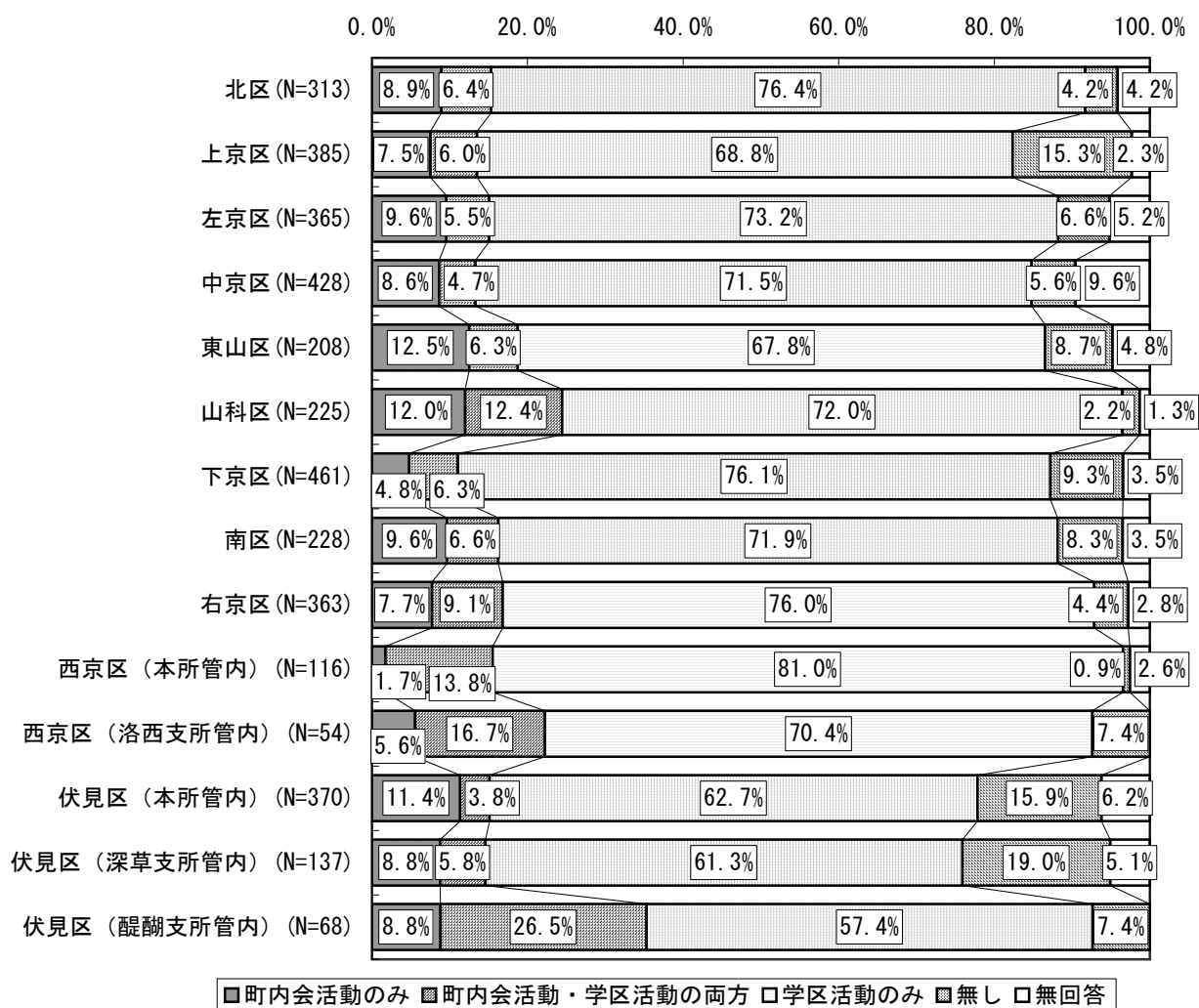


○体育大会・スポーツ

体育大会・スポーツについて、地域別にみると、「学区活動のみ」がほとんどの地域で6～7割以上となっているが、伏見区（醍醐支所管内）だけは57.4%と少なくなっている。体育大会は学区単位の「体育振興会連合会」が中心になっているので、学区活動が多いとみられる。

逆に、「町内会活動・学区活動の両方」は伏見区（醍醐支所管内）では26.5%と他の地域に比べて多くなっている。

図 活動内容－体育大会・スポーツ



○文化活動

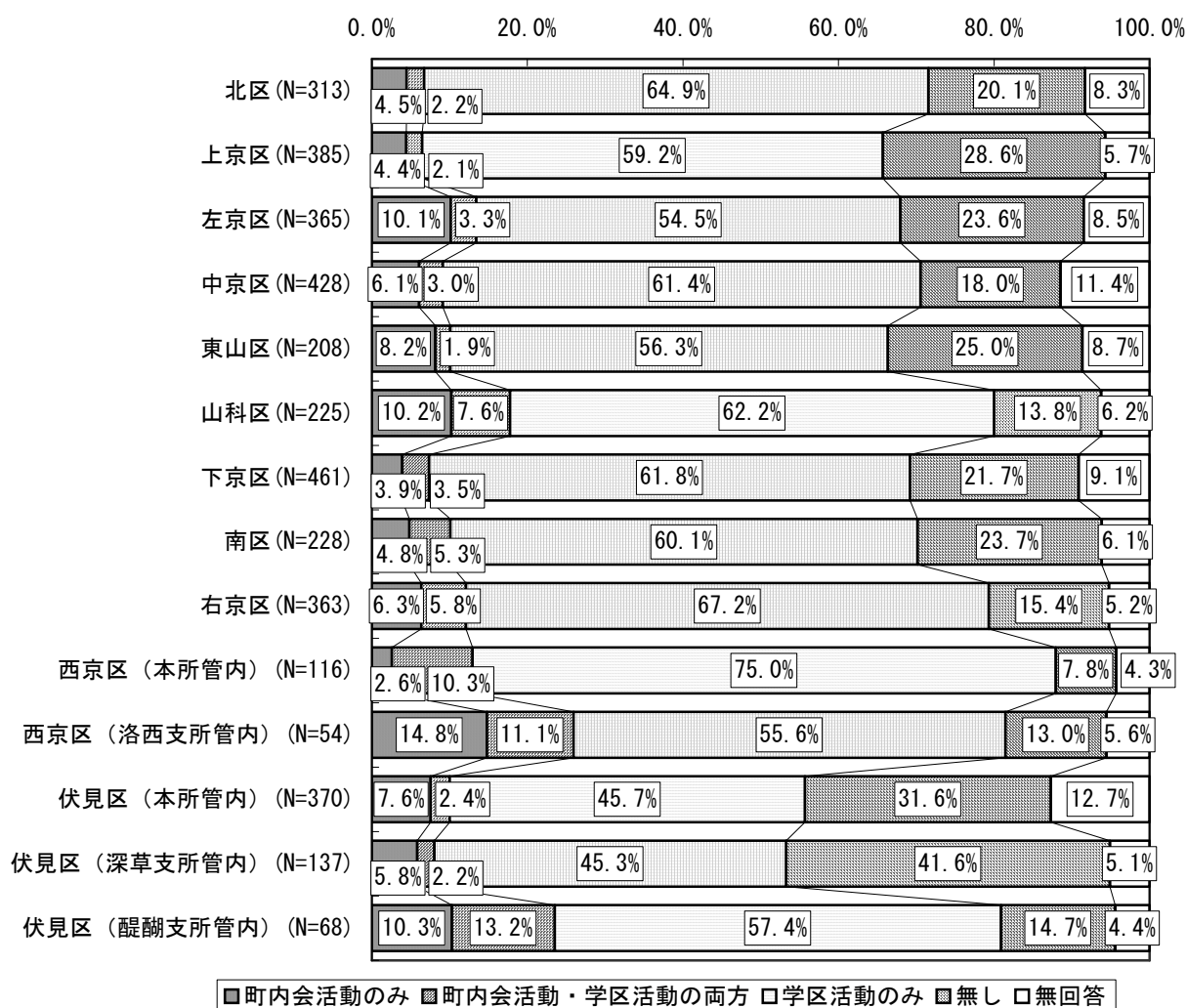
文化活動について、地域別にみると、「町内会活動のみ」が最も多いのは西京区（洛西支所管内）で14.8%，次いで伏見区（醍醐支所管内）（10.3%），山科区（10.2%）などとなっている。

「学区活動のみ」が最も多いのは西京区（本所管内）で75.0%，次いで右京区（67.2%），北区（64.9%）などとなっている。

「町内会活動・学区活動の両方」が最も多いのは、伏見区（醍醐支所管内）の13.2%となっている。

活動率は前掲の各分野に比べて、相対的に低くなっている。

図 活動内容－文化活動－



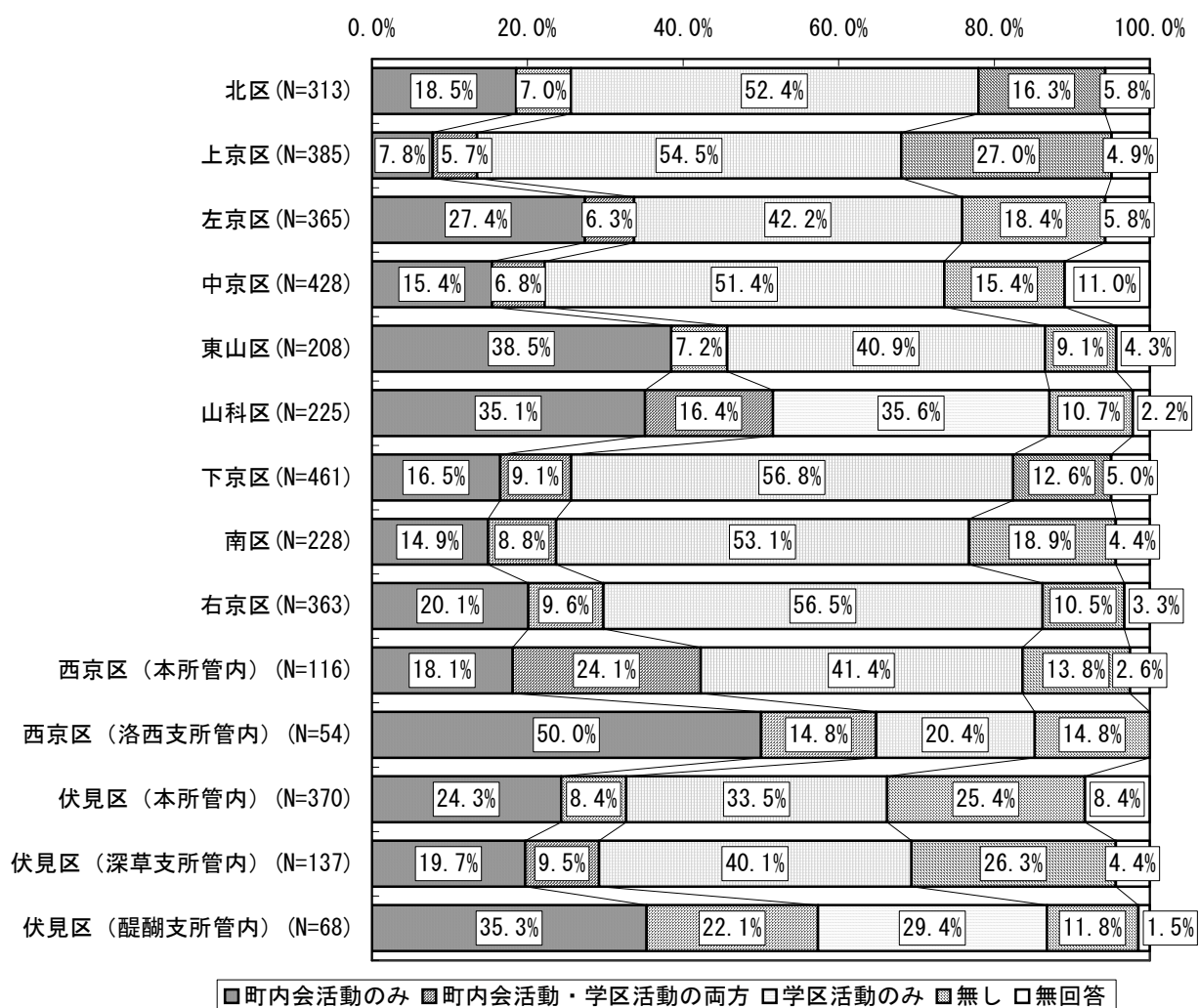
○お祭り

お祭りについて、地域別にみると、「町内会活動のみ」が最も多いのは西京区（洛西支所管内）で50.0%，次いで東山区（38.5%），伏見区（醍醐支所管内）（35.3%）などとなっており、洛西所管内や醍醐支所管内では、大規模町内会が多いことと「地蔵盆」に替わるものとして、祭りが行われているものと考えられる。

「学区活動のみ」が最も多いのは下京区で56.8%，次いで右京区（56.5%），上京区（54.5%）などとなっている。

「町内会活動・学区活動の両方」が最も多いのは、西京区（本所管内）の24.1%となっている。

図 活動内容－お祭り－

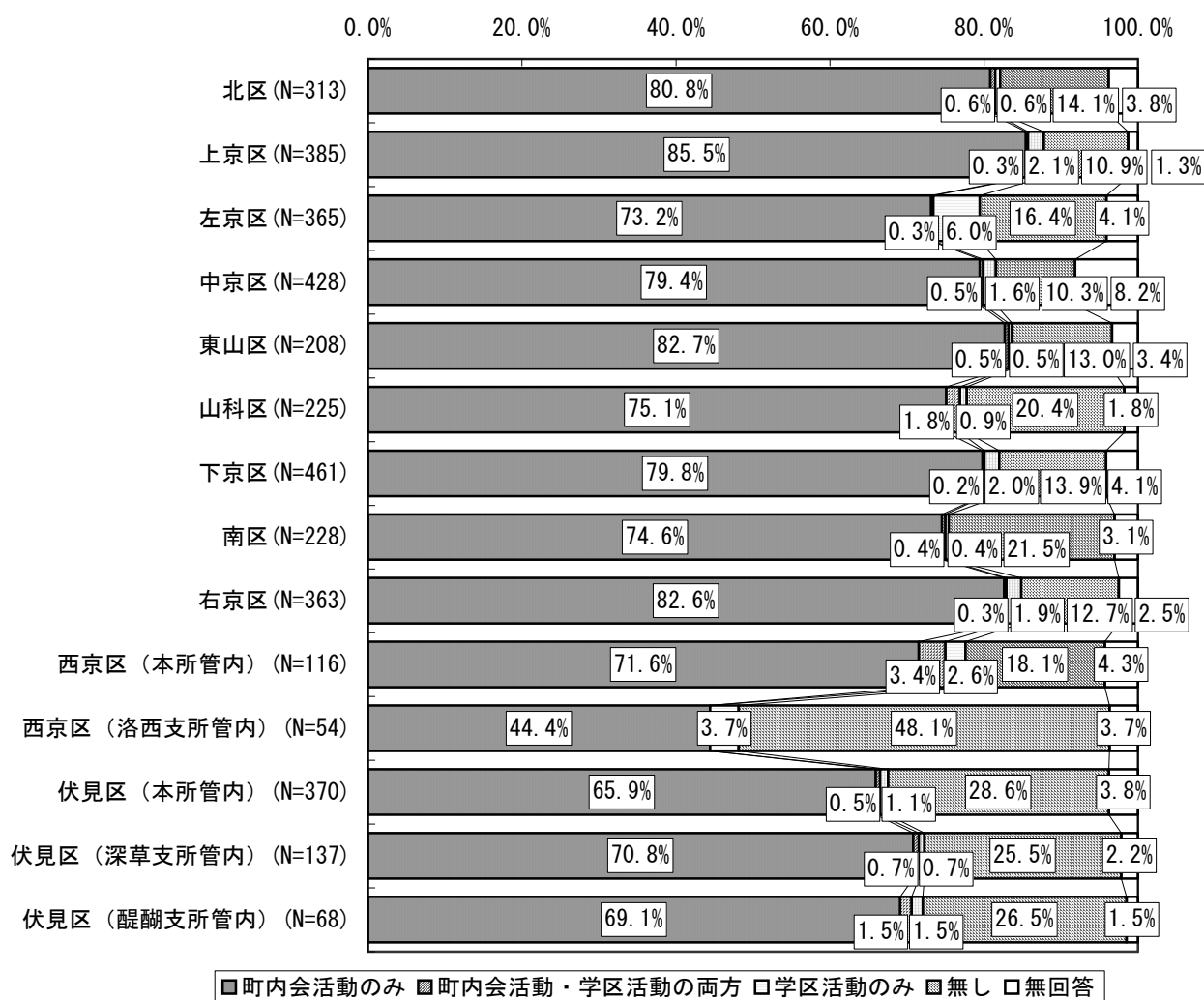


○地蔵盆

地蔵盆について、地域別にみると、「町内会活動のみ」ほとんどの地域で6～8割以上となっているが、西京区（洛西支所管内）だけは44.4%と少なくなっている。

逆に、「無し」は西京区（洛西支所管内）では48.1%と他の地域に比べて多くなっており、新興住宅地では旧来の風習がなかなか実施できないでいる。

図 活動内容－地蔵盆－



○親睦の会食・旅行等

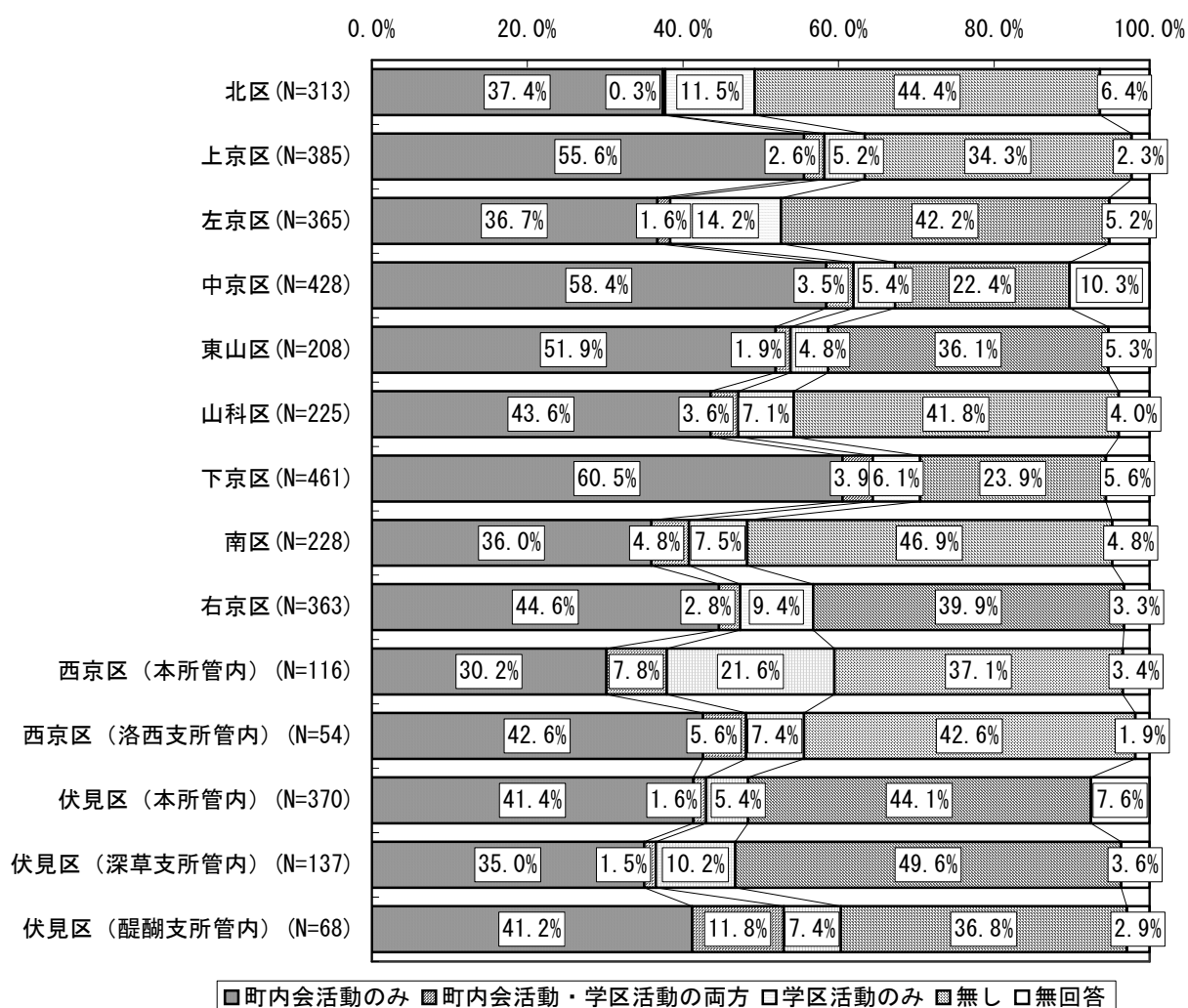
親睦の会食・旅行等について、地域別にみると、「町内会活動のみ」が最も多いのは下京区で60.5%、次いで中京区（58.4%）、上京区（55.6%）などとなっている。市中心部では町内会活動が盛んであるとみられる。

「学区活動のみ」が最も多いのは西京区（本所管内）で21.6%、次いで左京区（14.2%）、北区（11.5%）などとなっている。

「町内会活動・学区活動の両方」が最も多いのは、伏見区（醍醐支所管内）の11.8%となっている。

また、「無し」が最も多いのは伏見区（深草支所管内）で49.6%、次いで南区（46.9%）、北区（44.4%）などとなっている。

図 活動内容－親睦の会食・旅行等－

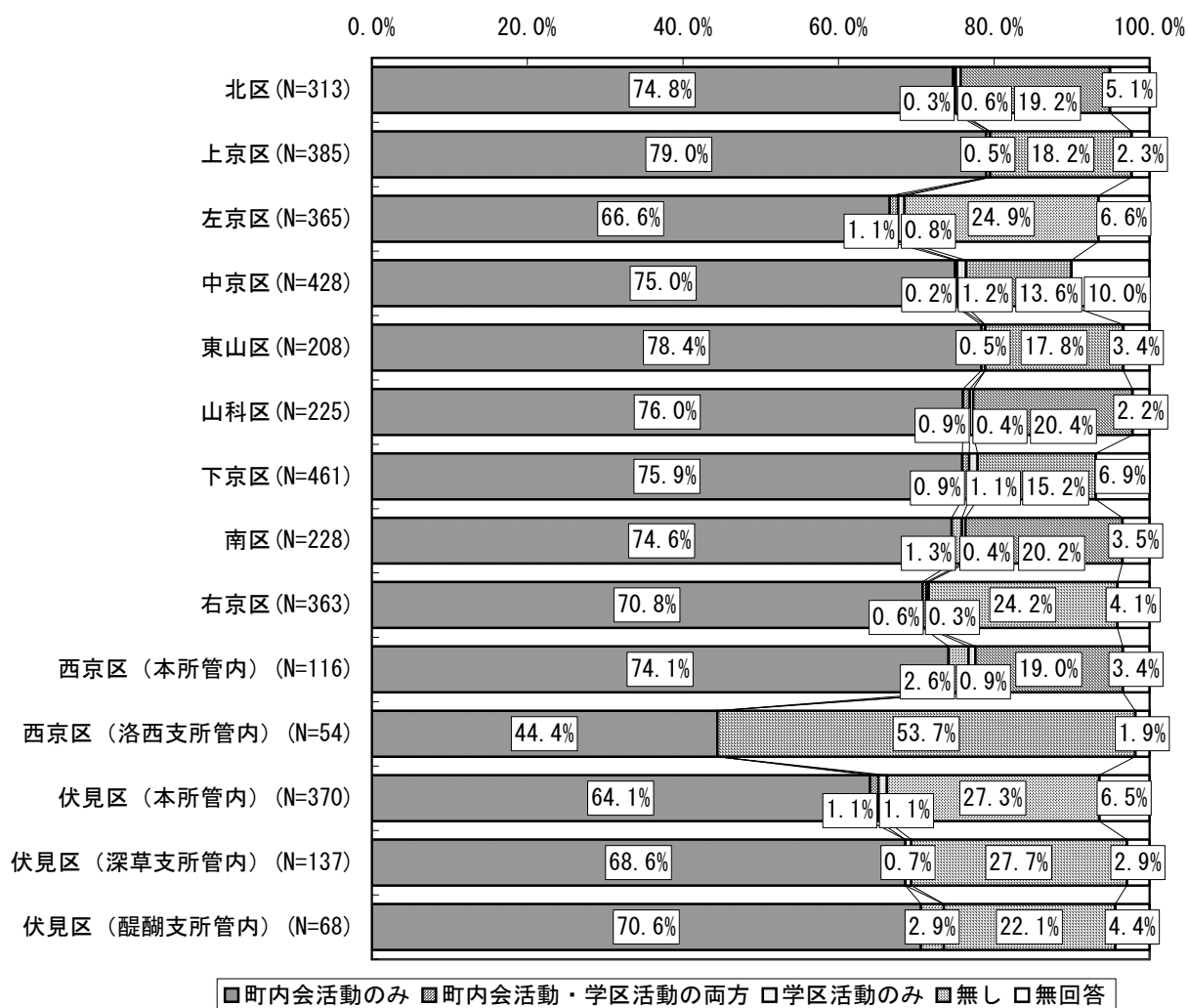


○葬儀等の手伝い

葬儀等の手伝いについて、地域別にみると、「町内会活動のみ」はほとんどの地域で6～7割以上となっているが、西京区（洛西支所管内）だけは44.4%と少なくなっており、学区としての手伝いはほとんど無いとみられる。

逆に、「無し」は西京区（洛西支所管内）では53.7%と他の地域に比べて多くなっており、ニュータウンでは、葬儀場を利用するケースが多いと考えられる。

図 活動内容－葬儀等の手伝い－



(2) 広報活動

○広報紙

広報活動についてみると、広報紙の発行頻度は、「作成していない」が79.5%で最も多くなっている。

地域別にみると、ほとんどの地域で「作成していない」が7割以上を占めているが、西京区（洛西支所管内）では「年3回以上発行」が24.1%、「毎月発行」が14.8%と他の地域に比べて多く、広報紙の発行頻度が高くなっている。

図 広報紙

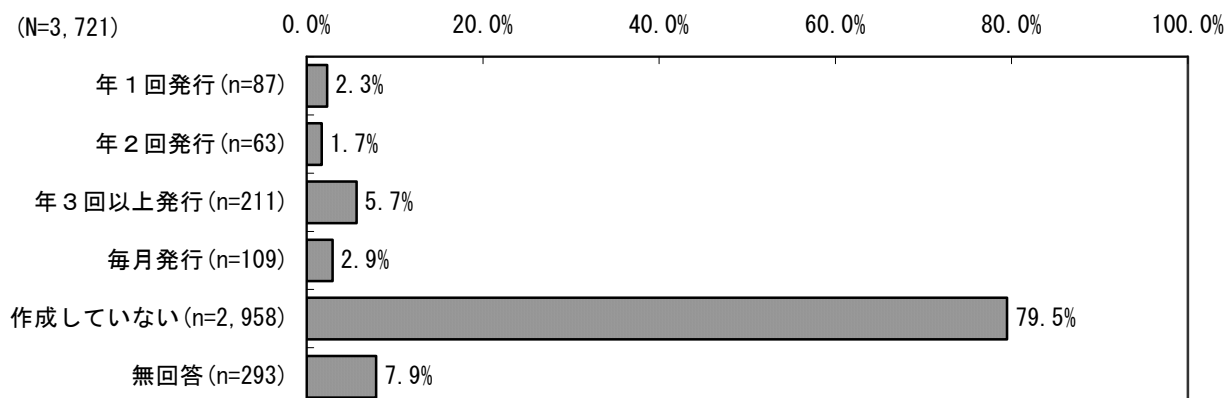


表 地域別 広報誌

	母数	年1回発行	年2回発行	年3回以上発行	毎月発行	作成していない	無回答
北区	313	1.6%	0.6%	4.5%	1.9%	82.7%	8.6%
上京区	385	1.3%	0.5%	2.9%	1.6%	89.6%	4.2%
左京区	365	5.2%	1.9%	8.8%	3.0%	71.5%	9.6%
中京区	428	1.6%	2.1%	3.7%	1.6%	78.7%	12.1%
東山区	208	1.4%	1.9%	3.8%	2.4%	81.7%	8.7%
山科区	225	3.6%	1.3%	7.6%	3.6%	77.3%	6.7%
下京区	461	1.5%	1.3%	3.3%	1.5%	84.2%	8.2%
南区	228	1.3%	2.6%	6.6%	3.5%	80.3%	5.7%
右京区	363	1.9%	0.8%	4.7%	2.8%	82.9%	6.9%
西京区（本所管内）	116	1.7%	2.6%	6.9%	7.8%	70.7%	10.3%
西京区（洛西支所管内）	54	0.0%	1.9%	24.1%	14.8%	57.4%	1.9%
伏見区（本所管内）	370	3.5%	2.4%	8.6%	3.2%	74.6%	7.6%
伏見区（深草支所管内）	137	2.2%	3.6%	4.4%	4.4%	81.8%	3.6%
伏見区（醍醐支所管内）	68	7.4%	4.4%	10.3%	8.8%	57.4%	11.8%

○ホームページ

ホームページについてみると、「作成している」が0.9%、「作成していない」が88.5%となっており、大半がホームページを作成していない。

地域別にみると、西京区（洛西支所管内）は「作成している」が3.7%と、他の地域に比べると比較的多くなっており、世帯数が多いことや若い世代でITをうまく活用できる人材がいることでホームページによる情報提供を積極的に活用している。

図 ホームページ

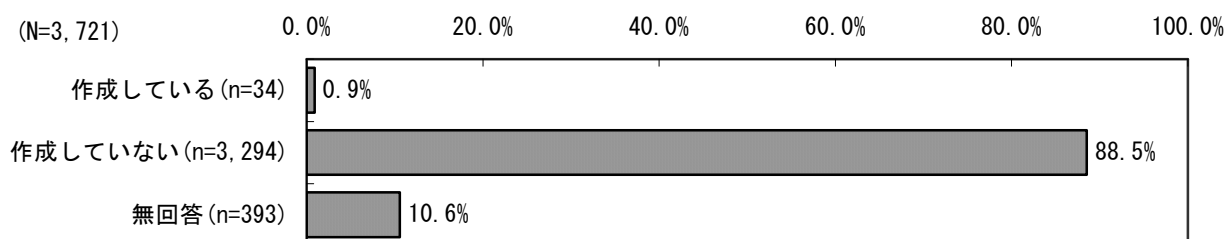


表 地域別 ホームページ

	母数	作成している	作成していない	無回答
北区	313	1.0%	88.8%	10.2%
上京区	385	0.3%	94.0%	5.7%
左京区	365	0.8%	86.3%	12.9%
中京区	428	0.7%	84.8%	14.5%
東山区	208	0.0%	90.4%	9.6%
山科区	225	0.9%	89.8%	9.3%
下京区	461	1.3%	87.4%	11.3%
南区	228	1.3%	90.8%	7.9%
右京区	363	0.8%	90.9%	8.3%
西京区（本所管内）	116	0.9%	87.1%	12.1%
西京区（洛西支所管内）	54	3.7%	88.9%	7.4%
伏見区（本所管内）	370	1.4%	86.2%	12.4%
伏見区（深草支所管内）	137	0.7%	89.1%	10.2%
伏見区（醍醐支所管内）	68	1.5%	82.4%	16.2%

(3) 加入促進活動

加入促進活動をみると、「未加入者や転入者に積極的に加入を呼び掛けている」は43.1%、「加入の呼び掛けは特段行っていない」は46.3%となっている。

地域別にみると、「未加入者や転入者に積極的に加入を呼び掛けている」が最も多いのは山科区と西京区（本所管内）でともに56.0%、次いで伏見区（醍醐支所管内）（55.9%）などとなっている。

「未加入者や転入者に積極的に加入を呼び掛けている」が「加入の呼び掛けは特段行っていない」を上回っているのは、中京区・山科区・西京区（本所管内、洛西支所管内）・伏見区（醍醐支所管内）の5地区となっており、中京区では事業所の多いことが参加呼びかけをしても加入してもらえないためと考えられる。その他の周辺地域では、新規の居住者が多いため呼びかけをしてもなかなか加入促進とつながっていかないため、ややあきらめているような滋養教ではないかと推測できる。

わかりやすく自治会活動の目的や加入してのメリットを打ち出すことで加入促進につなげていく活動を市内全域で進めていく必要がある。

図 加入促進活動

(N=3,721)

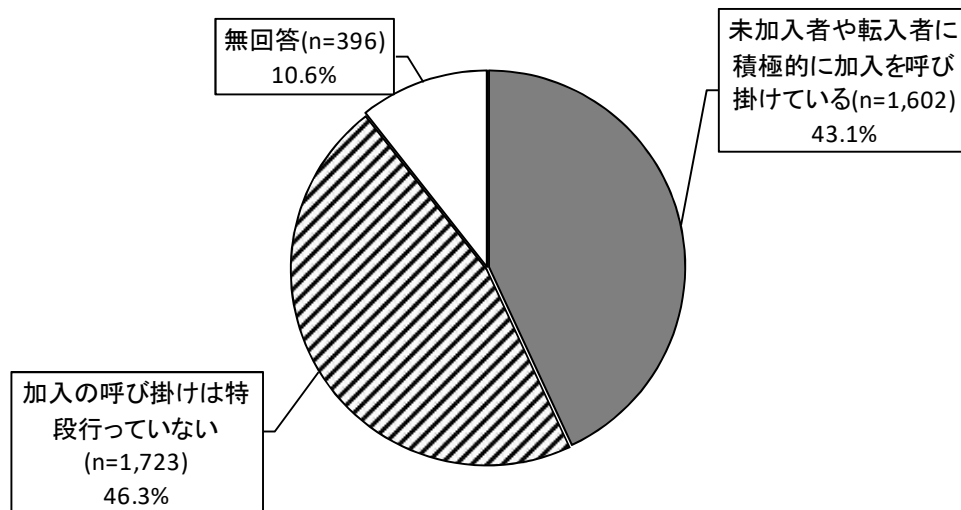
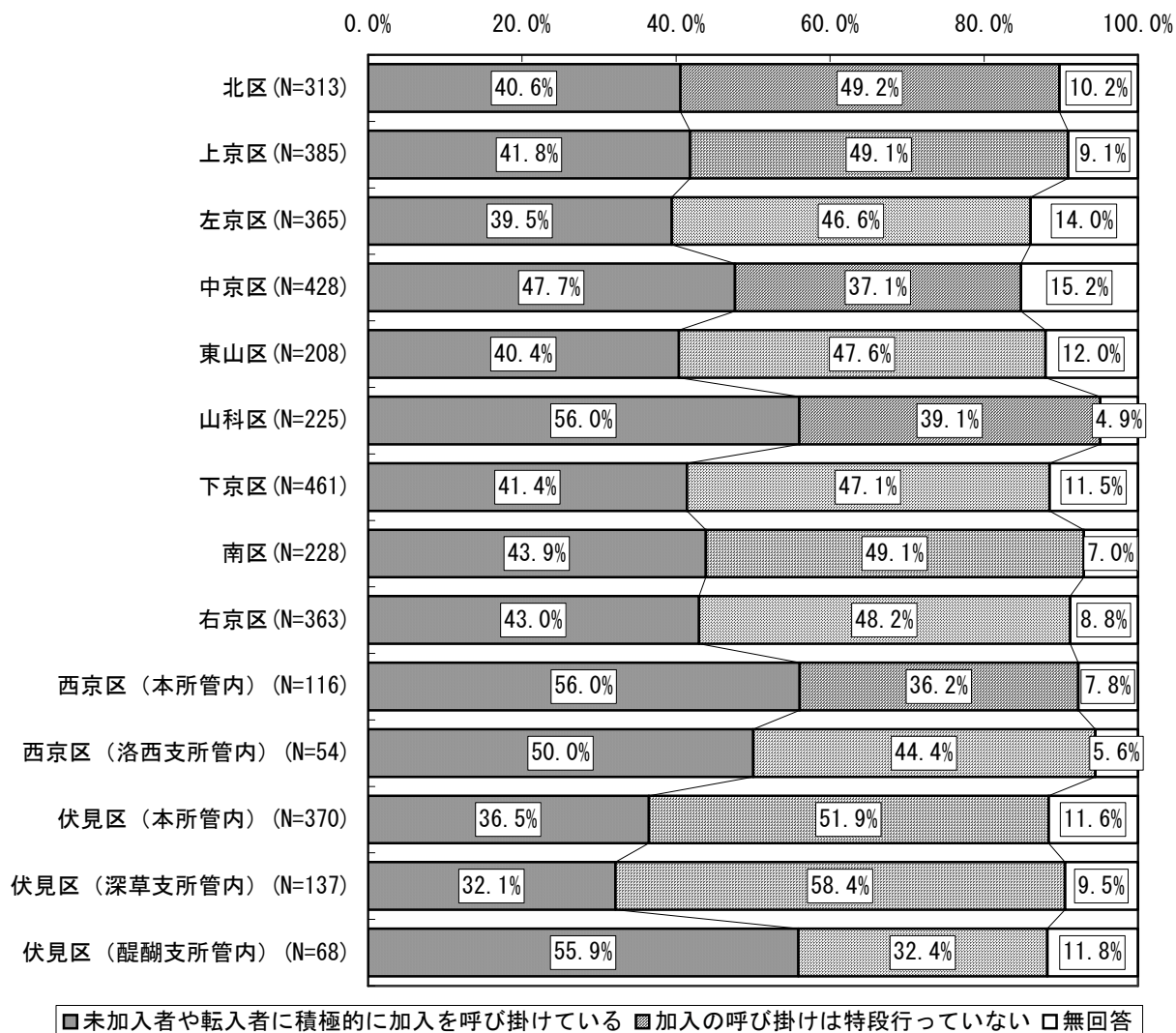


図 地域別 加入促進活動



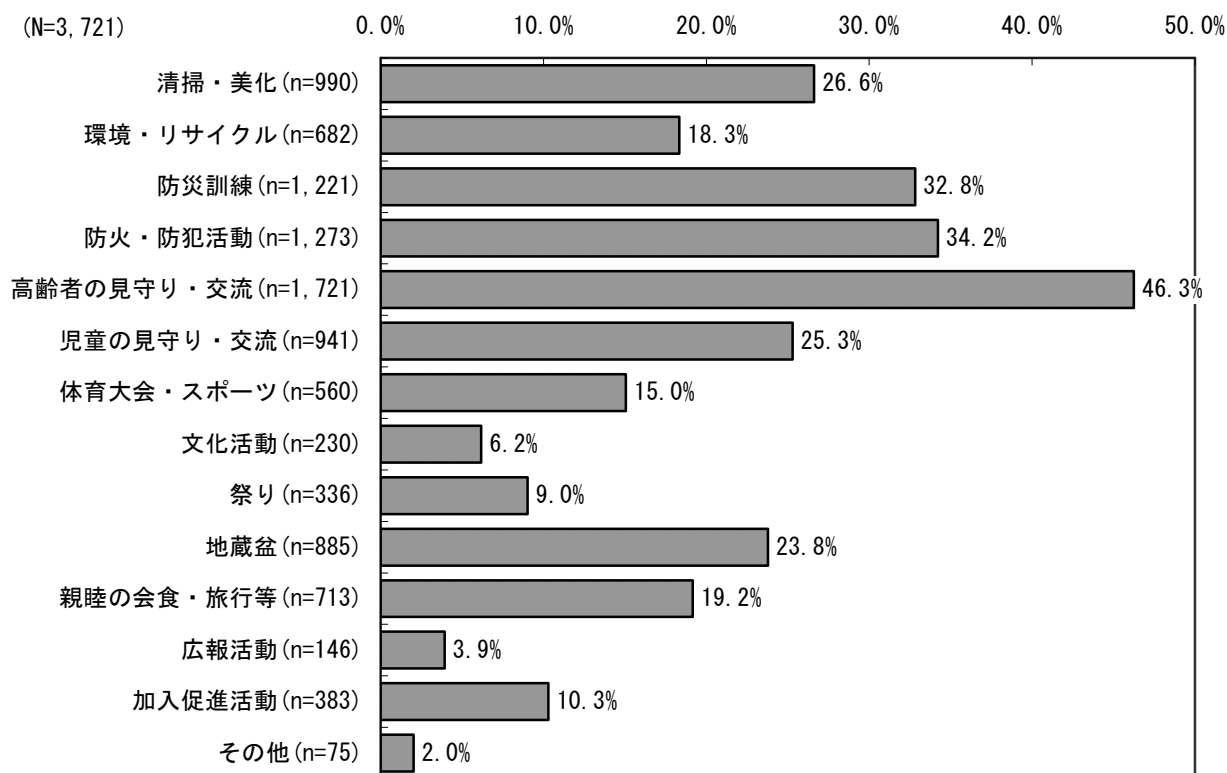
(4) 今後力を入れたい活動

今後力を入れたい活動をみると、「高齢者の見守り・交流」が46.3%で最も多く、次いで「防火・防犯活動」(34.2%)、「防災訓練」(32.8%)などとなっている。

地域別にみると、いずれの地域でも「高齢者の見守り・交流」が最も多くなっている。

「高齢者の見守り・交流」「防火・防犯活動」「防災訓練」いずれも、学区活動で行われることが多くなっており、町会を超えた地域での連携も求められているとみられる。

図 今後力を入れたい活動（複数回答）



平均回答個数を見ると、山科区や西京区（洛西支所管内）、伏見区（醍醐支所管内）では3個以上と多く回答しており、より多くの活動強化を考えている。

表 地域別 今後力を入れたい活動（複数回答）

	清掃・美化	環境・リサ	防災訓練	防火・防犯活動	高齢者の見守り・交流	児童の見守り・交流	体育大会・スポーツ	文化活動	祭り	地蔵盆	食・親睦の会・旅行等	広報活動	加入促進活動	その他	平均回答個数
京都市全体	26.6%	18.3%	32.8%	34.2%	46.3%	25.3%	15.0%	6.2%	9.0%	23.8%	19.2%	3.9%	10.3%	2.0%	2.73
北区	22.0%	18.2%	26.2%	25.9%	47.3%	24.6%	14.7%	5.4%	5.4%	20.8%	14.4%	3.2%	10.2%	1.3%	2.40
上京区	18.4%	16.1%	29.1%	29.4%	44.2%	19.7%	11.4%	2.1%	3.4%	30.4%	22.6%	1.6%	6.8%	2.1%	2.37
左京区	31.0%	19.5%	35.3%	37.8%	48.2%	29.0%	12.6%	7.4%	12.1%	21.9%	15.9%	5.5%	9.3%	3.0%	2.89
中京区	16.4%	13.8%	29.2%	32.5%	41.1%	22.4%	16.1%	3.5%	6.3%	26.2%	22.9%	2.1%	8.4%	1.2%	2.42
東山区	24.0%	19.2%	33.2%	41.3%	52.9%	19.2%	13.0%	4.8%	11.1%	27.4%	20.7%	2.4%	8.7%	1.0%	2.79
山科区	38.7%	23.1%	40.9%	40.9%	57.3%	35.6%	17.3%	6.2%	13.8%	24.9%	16.4%	7.1%	15.1%	1.8%	3.39
下京区	24.1%	16.1%	31.0%	33.2%	41.9%	22.8%	16.9%	7.8%	9.3%	26.5%	28.0%	2.8%	8.7%	3.0%	2.72
南区	38.2%	17.5%	37.7%	33.3%	46.5%	29.8%	18.9%	8.3%	14.0%	21.5%	18.9%	4.8%	11.4%	2.6%	3.04
右京区	26.2%	22.0%	34.7%	35.3%	48.2%	28.7%	15.4%	5.8%	9.6%	22.9%	16.3%	6.9%	10.5%	2.8%	2.85
西京区（本所管内）	31.0%	16.4%	32.8%	40.5%	44.0%	30.2%	18.1%	10.3%	7.8%	19.0%	10.3%	6.9%	25.9%	0.9%	2.94
西京区（洛西支所管内）	38.9%	27.8%	38.9%	42.6%	51.9%	25.9%	18.5%	16.7%	14.8%	13.0%	18.5%	9.3%	22.2%	1.9%	3.41
伏見区（本所管内）	29.2%	20.0%	33.8%	33.0%	43.8%	22.2%	12.4%	6.5%	9.5%	18.6%	15.7%	2.7%	10.3%	1.6%	2.59
伏見区（深草支所管内）	32.8%	19.7%	31.4%	35.0%	43.1%	26.3%	12.4%	5.8%	6.6%	24.1%	13.9%	0.7%	6.6%	0.7%	2.59
伏見区（醍醐支所管内）	39.7%	17.6%	44.1%	39.7%	55.9%	32.4%	26.5%	14.7%	14.7%	19.1%	22.1%	10.3%	14.7%	2.9%	3.54

第1位 第2位 第3位

注）平均回答個数は、複数回答の各項目でどれだけの個数を回答したかを示している。数値が多いほど、多くの個数に○をつけていることとなる。（以下同様）

今後力を入れたい活動の各項目の上位の行政区をみると、「地蔵盆」や「親睦の会食・旅行等」を除くと周辺地域の伏見区や山科区、西京区がいずれも上位にきており、積極性をみせている。

表 今後力を入れたい活動（複数回答）－各項目の上位

	第1位	第2位	第3位
清掃・美化	伏見区 (醍醐支所管内)	西京区 (洛西支所管内)	山科区
環境・リサイクル	西京区 (洛西支所管内)	山科区	右京区
防災訓練	伏見区 (醍醐支所管内)	山科区	西京区 (洛西支所管内)
防火・防犯活動	西京区 (洛西支所管内)	東山区	山科区
高齢者の見守り・交流	山科区	伏見区 (醍醐支所管内)	東山区
児童の見守り・交流	山科区	伏見区 (醍醐支所管内)	西京区 (本所管内)
体育大会・スポーツ	伏見区 (醍醐支所管内)	南区	西京区 (洛西支所管内)
文化活動	西京区 (洛西支所管内)	伏見区 (醍醐支所管内)	西京区 (本所管内)
祭り	西京区 (洛西支所管内)	伏見区 (醍醐支所管内)	南区
地蔵盆	上京区	東山区	下京区
親睦の会食・旅行等	下京区	中京区	上京区
広報活動	伏見区 (醍醐支所管内)	西京区 (洛西支所管内)	山科区
加入促進活動	西京区 (本所管内)	西京区 (洛西支所管内)	山科区

（５）外部団体等との連携

○連携・協力希望

活動にあたっての外部との連携・協力について、連携・協力希望をみると、「機会があれば連携」が51.9%で最も多く、次いで「必要ない」（22.0%）となっている。

地域別にみると、「連携したい」「機会があれば連携」の合計が最も多いのは伏見区（醍醐支所管内）で69.1%，次いで西京区（本所管内）（69.0%）となっている。

図 連携・協力希望

(N=3,721)

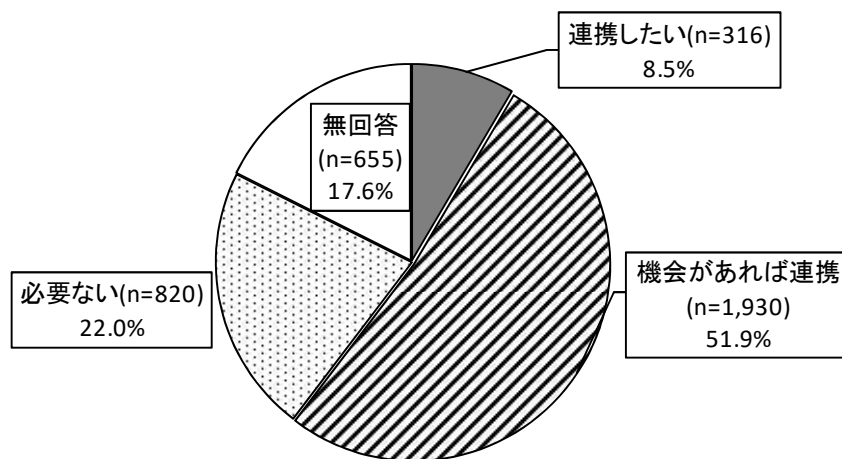
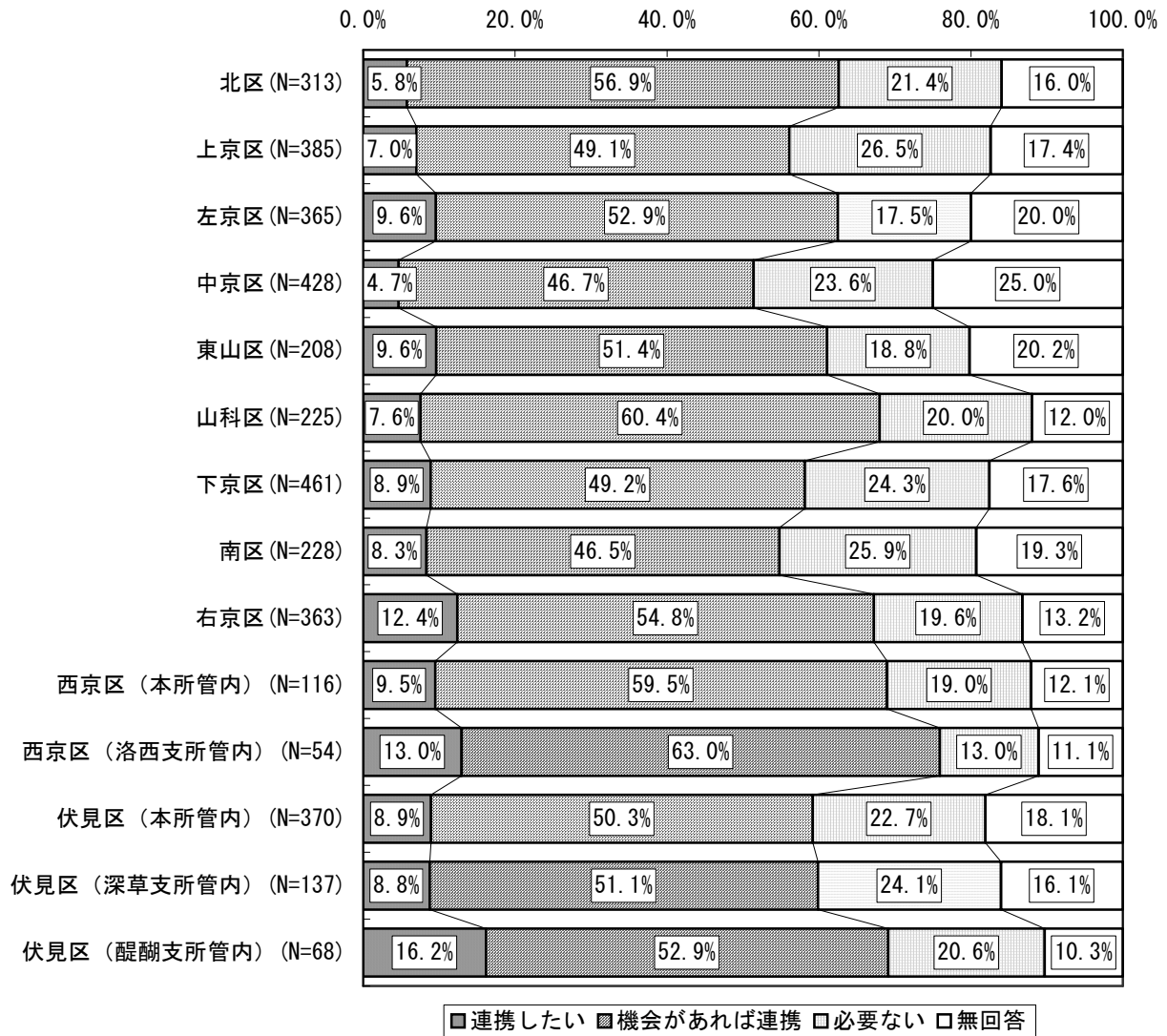


図 地域別 連携・協力希望



○連携・協力したい団体・個人

連携・協力したい団体・個人をみると、「隣接する自治会・町内会」が44.1%で最も多く、次いで「学校・PTA」(25.9%)となっている。

地域別にみると、いずれの地域でも「隣接する自治会・町内会」が最も多く、次いで「学校・PTA」となっている。

「隣接する自治会・町内会」との連携を希望している回答が多いことは、高齢化の進展による役員のなり手不足や一町内の世帯数の減少などにより、一町内単独での自治会運営の限界ともなっている様子がうかがえる。

また、「学校・PTA」「大学・学生」との連携希望も各行政区とも多く、地域の学校の協力を望んでいる状況がみられ、地域と教育機関の連携や学校でのボランティアセンターなどの設置による協働活動の窓口設置などによる連携強化を図っていく必要がある。

図 連携・協力したい団体・個人（複数回答）

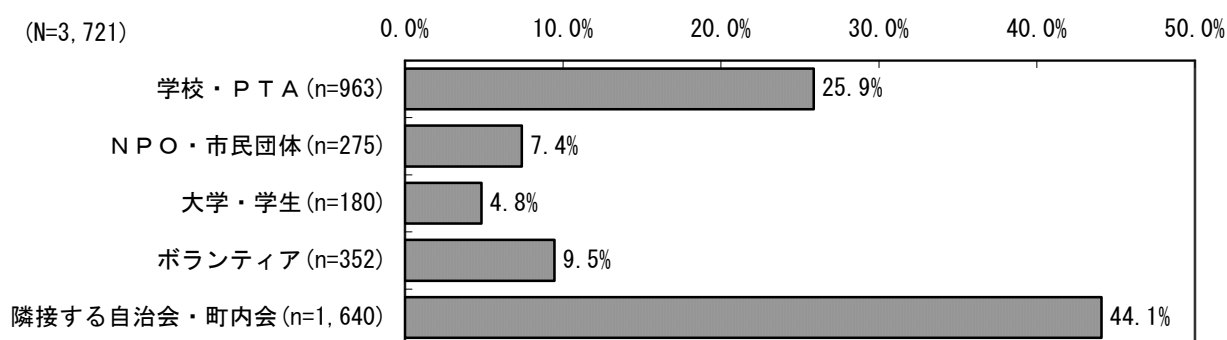
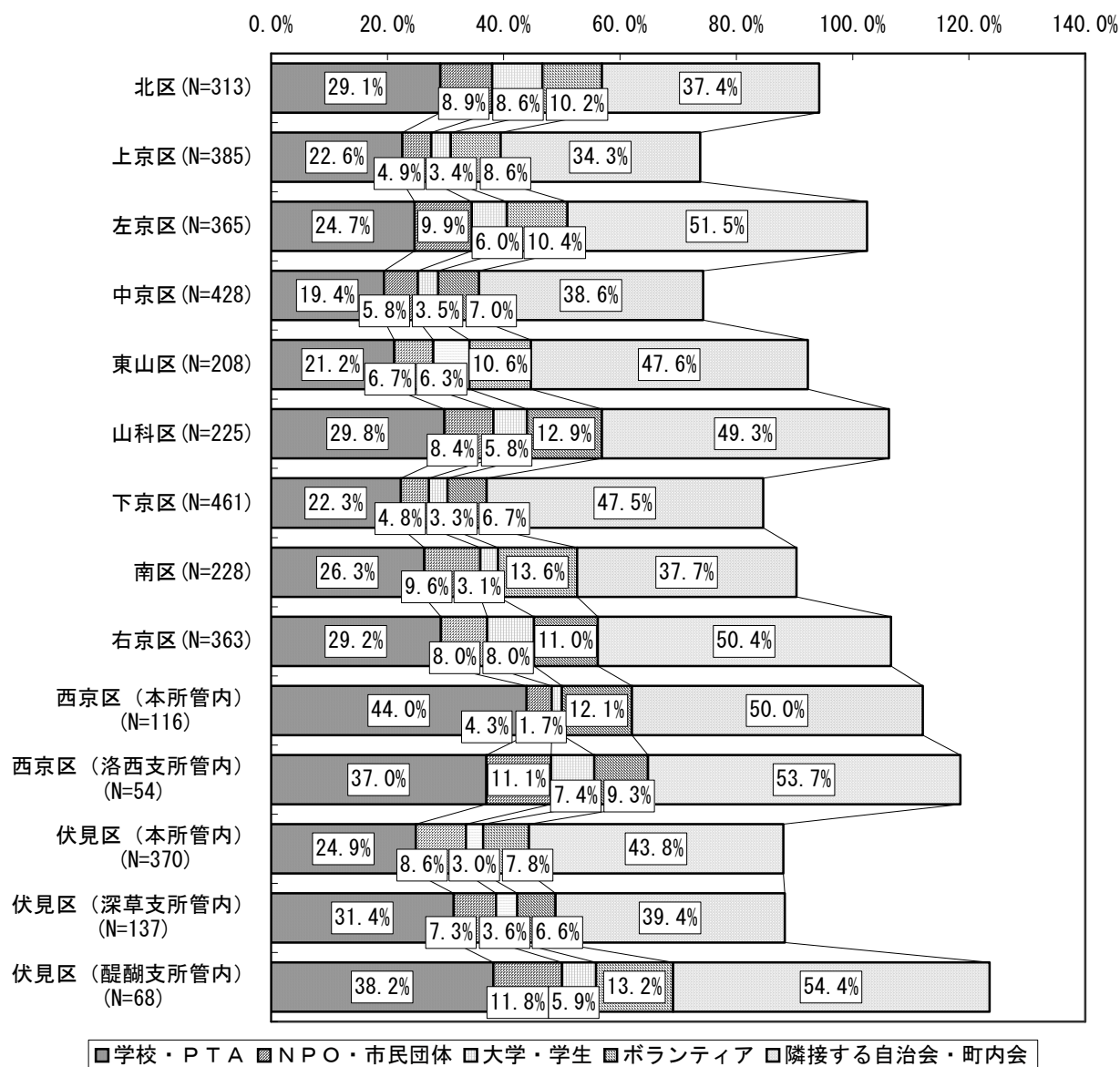


図 連携・協力したい団体・個人（複数回答）



5 自治会・町内会の課題やその解決に必要な支援

(1) 課題

自治会・町内会の課題をみると、「地域自体の高齢化・人口減」が62.1%で最も多く、次いで「役員のなり手不足」(59.3%)、「従事者や参加者の固定化」(23.6%)などとなっている。

地域別にみると、北区・上京区・左京区・中京区・東山区・西京区(洛西支所管内)・伏見区では「地域自体の高齢化・人口減」が、それ以外の地域では「役員のなり手不足」がそれぞれ最も多くなっている。

全ての地域で第1位、第2位に「地域自体の高齢化・人口減」「役員のなり手不足」を課題として挙げており、全ての地域で「高齢者の見守り・交流」を今後力を入れたい活動としていたことから、市民全体として一番の懸念材料は「高齢化」とであるとみられる。

図 課題(複数回答)

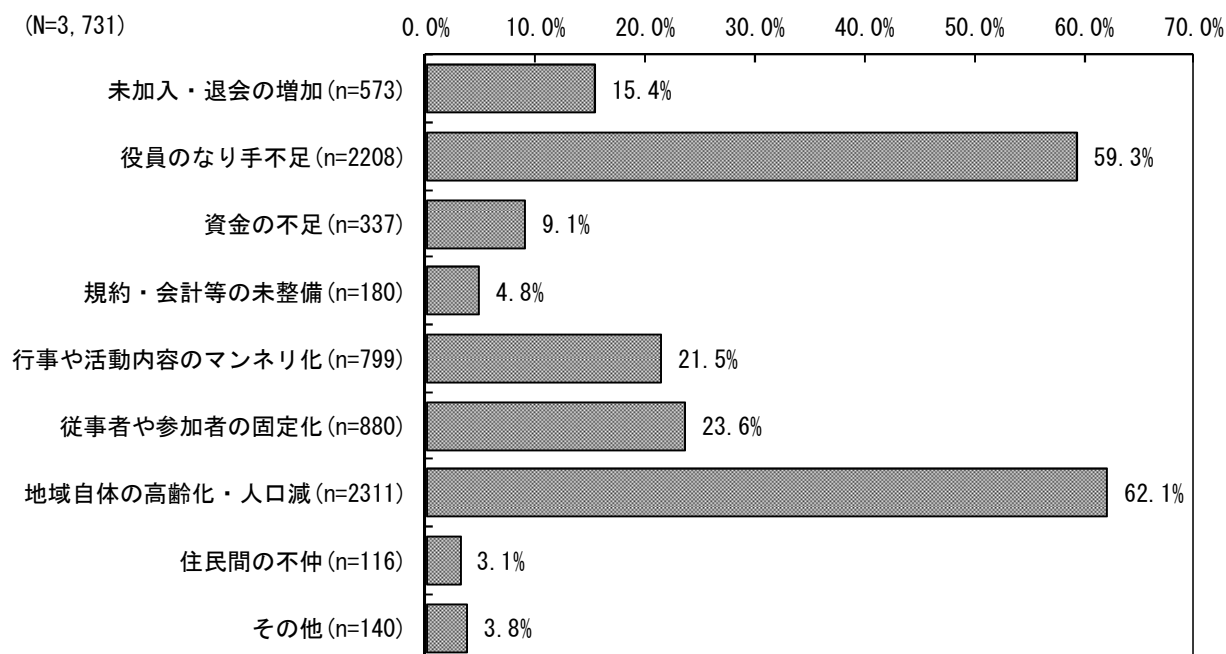


表 地域別 課題（複数回答）

	未加入・退会の増加	役員のなり手不足	資金の不足	規約・会計等の未整備	行事や活動内容のマンネリ化	従事者や参加者の固定化	地域自体の高齢化・人口減	住民間の不仲	その他	平均回答個数
京都市全体	15.4%	59.3%	9.1%	4.8%	21.5%	23.6%	62.1%	3.1%	3.8%	2.03
北区	16.6%	58.5%	7.3%	4.8%	20.1%	22.0%	64.9%	3.8%	4.5%	2.03
上京区	4.7%	54.5%	10.6%	5.7%	21.3%	22.3%	61.0%	1.8%	2.6%	1.90
左京区	9.9%	58.9%	9.0%	5.2%	22.5%	22.7%	62.5%	3.6%	3.6%	1.98
中京区	9.6%	52.8%	6.3%	5.8%	18.0%	25.0%	63.6%	2.3%	5.1%	1.89
東山区	8.7%	66.8%	12.0%	7.2%	19.7%	22.1%	67.8%	4.3%	4.3%	2.13
山科区	30.7%	69.3%	8.9%	4.0%	22.7%	26.2%	64.9%	3.6%	4.0%	2.34
下京区	9.5%	64.2%	7.6%	2.6%	21.9%	20.2%	60.1%	0.9%	3.3%	1.90
南区	18.4%	68.0%	12.3%	7.0%	29.8%	32.9%	64.5%	3.5%	3.1%	2.40
右京区	21.5%	61.4%	10.5%	2.2%	20.1%	29.2%	59.2%	3.0%	3.6%	2.11
西京区（本所管内）	46.6%	69.0%	8.6%	9.5%	23.3%	22.4%	54.3%	3.4%	2.6%	2.40
西京区（洛西支所管内）	29.6%	51.9%	16.7%	5.6%	27.8%	22.2%	63.0%	0.0%	5.6%	2.22
伏見区（本所管内）	18.6%	50.8%	7.0%	4.9%	21.1%	23.2%	58.1%	5.7%	3.2%	1.93
伏見区（深草支所管内）	14.6%	47.4%	10.2%	4.4%	15.3%	12.4%	64.2%	2.9%	2.2%	1.74
伏見区（醍醐支所管内）	23.5%	64.7%	11.8%	1.5%	29.4%	22.1%	69.1%	7.4%	10.3%	2.40

第1位
 第2位
 第3位

表 課題（複数回答）－各項目上位の行政区

	第1位	第2位	第3位
未加入・退会の増加	西京区 (本所管内)	山科区	西京区 (洛西支所管内)
役員のなり手不足	山科区	西京区 (本所管内)	南区
資金の不足	西京区 (洛西支所管内)	南区	東山区
規約・会計等の未整備	西京区 (本所管内)	東山区	南区
行事や活動内容のマンネリ化	南区	伏見区 (醍醐支所管内)	西京区 (洛西支所管内)
従事者や参加者の固定化	南区	右京区	中京区
地域自体の高齢化・人口減	伏見区 (醍醐支所管内)	東山区	北区
住民間の不仲	伏見区 (醍醐支所管内)	伏見区 (本所管内)	東山区

（２）必要な支援策

解決に必要な支援策についてみると、「自治会・町内会の重要性についての市民啓発」が38.6%で最も多く、次いで「経済的支援（補助金交付、活動用具提供など）」（19.1%）,「マンション業者等への行政からの働き掛け」（17.7%）などとなっている。

図 必要な支援策（複数回答）

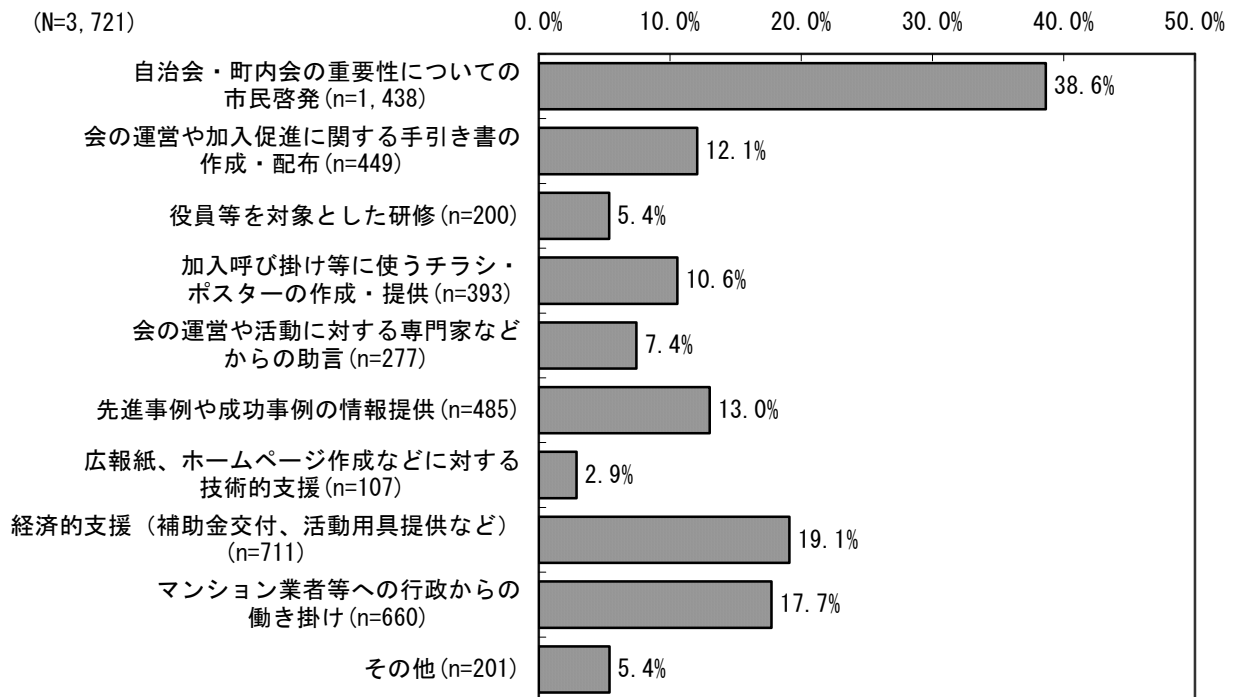


表 地域別 必要な支援策（複数回答）

	自治会・町内会の重要性について の市民啓発	会の運営や加入促進に関する 手引き書の作成・配布	役員等を対象とした研修	加入呼び掛け等に使う チラシ・ポスターの作成・提供	会の運営や活動に対する専門 家などからの助言	先進事例や成功事例の情報 提供	広報紙、ホームページ作成 などに対する技術的支援	経済的支援（補助金交付、 活動用具提供など）	マンション業者等への行政 からの働き掛け	その他	平均回答 個数
京都市全体	38.6%	12.1%	5.4%	10.6%	7.4%	13.0%	2.9%	19.1%	17.7%	5.4%	1.32
北区	34.8%	12.1%	3.8%	11.5%	5.8%	13.1%	2.9%	19.2%	17.3%	5.8%	1.26
上京区	30.6%	7.0%	2.3%	4.9%	5.5%	9.9%	1.6%	15.3%	17.9%	4.9%	1.00
左京区	40.0%	12.9%	5.8%	11.5%	9.3%	15.6%	3.6%	18.9%	15.9%	6.6%	1.40
中京区	32.5%	8.2%	2.8%	6.3%	5.8%	11.7%	1.4%	15.0%	21.7%	4.7%	1.10
東山区	40.9%	11.1%	7.7%	5.8%	7.2%	11.5%	3.4%	21.2%	19.7%	5.3%	1.34
山科区	48.0%	18.7%	7.6%	16.4%	10.7%	12.9%	2.2%	20.9%	22.2%	5.3%	1.65
下京区	32.5%	10.6%	4.1%	7.6%	5.4%	11.5%	2.2%	15.4%	21.7%	5.0%	1.16
南区	42.5%	14.5%	7.0%	15.4%	8.3%	16.2%	3.1%	21.1%	16.7%	7.0%	1.52
右京区	43.3%	14.6%	7.4%	14.0%	8.3%	15.2%	4.4%	25.3%	16.8%	4.4%	1.54
西京区（本所 管内）	53.4%	19.8%	9.5%	28.4%	10.3%	16.4%	5.2%	24.1%	31.9%	5.2%	2.04
西京区（洛西 支所管内）	48.1%	13.0%	9.3%	11.1%	13.0%	16.7%	5.6%	31.5%	3.7%	11.1%	1.63
伏見区（本所 管内）	42.7%	13.2%	6.5%	10.3%	8.1%	11.9%	3.5%	18.9%	11.4%	5.7%	1.32
伏見区（深草 支所管内）	32.8%	9.5%	3.6%	10.2%	7.3%	11.7%	2.2%	15.3%	7.3%	2.2%	1.02
伏見区（醍醐 支所管内）	55.9%	14.7%	8.8%	11.8%	10.3%	19.1%	4.4%	30.9%	7.4%	8.8%	1.72

第1位
 第2位
 第3位

表 必要な支援策（複数回答）－各項目上位の行政区

	第1位	第2位	第3位
自治会・町内会の重要性についての市民啓発	伏見区 (醍醐支所管内)	西京区 (本所管内)	西京区 (洛西支所管内)
会の運営や加入促進に関する手引き書の作成・配布	西京区 (本所管内)	山科区	伏見区 (醍醐支所管内)
役員等を対象とした研修	西京区 (本所管内)	西京区 (洛西支所管内)	伏見区 (醍醐支所管内)
加入呼び掛け等に使うチラシ・ポスターの作成・提供	西京区 (本所管内)	山科区	南区
会の運営や活動に対する専門家などからの助言	西京区 (洛西支所管内)	山科区	西京区(本所管内) 伏見区(醍醐支所管内)
先進事例や成功事例の情報提供	伏見区 (醍醐支所管内)	西京区 (洛西支所管内)	西京区(本所管内)
広報紙、ホームページ作成などに対する技術的支援	西京区 (洛西支所管内)	西京区 (本所管内)	右京区
経済的支援（補助金交付、活動用具提供など）	西京区 (洛西支所管内)	伏見区 (醍醐支所管内)	右京区 伏見区(醍醐支所管内)
マンション業者等への行政からの働き掛け	西京区 (本所管内)	山科区	中京区 下京区

6 代表者の属性

(1) 性別

代表者の性別をみると、「男性」が79.9%、「女性」が18.7%となっており、男性が約8割を占めている。「世帯」単位で役を担うため、名義は夫だが、仕事等の都合で実働は妻というケースも多いと考えられる。

地域別にみると、どの地域でも「男性」が7割以上を占めている。

図 性別

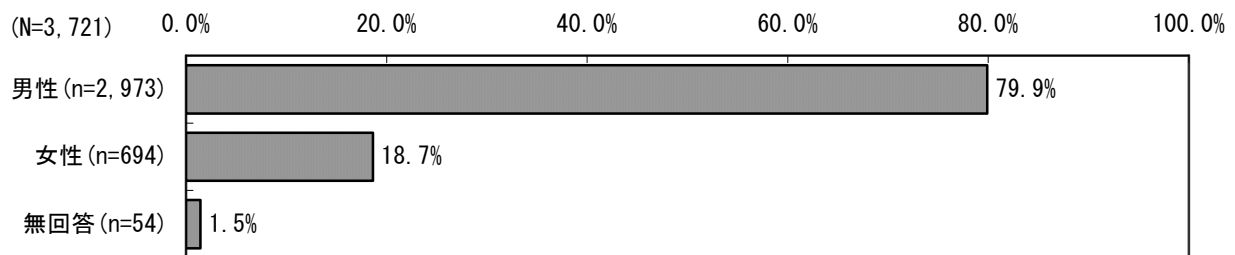


表 地域別 性別

	母数	男性	女性	無回答
北区	313	75.1%	23.6%	1.3%
上京区	385	81.8%	17.7%	0.5%
左京区	365	76.2%	22.5%	1.4%
中京区	428	80.4%	12.6%	7.0%
東山区	208	80.8%	18.8%	0.5%
山科区	225	70.2%	28.9%	0.9%
下京区	461	87.6%	11.9%	0.4%
南区	228	85.5%	14.0%	0.4%
右京区	363	82.6%	17.4%	0.0%
西京区（本所管内）	116	80.2%	18.1%	1.7%
西京区（洛西支所管内）	54	75.9%	24.1%	0.0%
伏見区（本所管内）	370	75.1%	23.8%	1.1%
伏見区（深草支所管内）	137	79.6%	20.4%	0.0%
伏見区（醍醐支所管内）	68	80.9%	17.6%	1.5%

(2) 年齢

年齢をみると、「60代」が38.0%で最も多く、次いで「70代」(23.6%)となっている。

地域別にみると、いずれの地域でも「60代」が最も多く、次いで山科区・西京区(本所管内)・伏見区(深草支所管内)では「50代」(西京区(本所管内)は「70代」も同率)、西京区(洛西支所管内)では「40代」、それ以外の地域では「70代」となっている。

なお、「60代以上」として算出した場合、伏見区(醍醐支所管内)が75.0%で最も多くなっており、会長の選出方法が役員による互選の割合も最も多い地域であることから、互選による選出のために会長が何年も務めて高齢化していると考えられる。

図 年齢

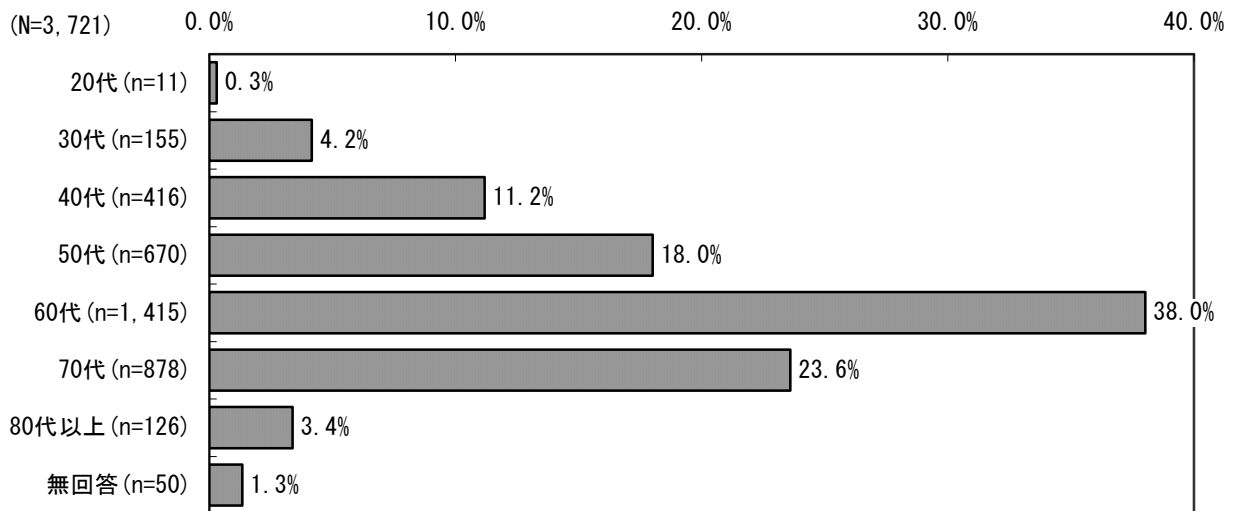


表 地域別 年齢

	母数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
北区	313	0.0%	4.2%	11.5%	19.8%	38.7%	21.4%	2.6%	1.9%
上京区	385	0.3%	3.1%	13.0%	20.0%	38.7%	21.3%	3.1%	0.5%
左京区	365	0.0%	3.0%	7.4%	13.7%	42.2%	26.8%	5.8%	1.1%
中京区	428	0.2%	3.3%	10.0%	17.5%	34.8%	24.3%	3.0%	6.8%
東山区	208	0.5%	2.4%	10.1%	17.3%	43.8%	22.1%	3.8%	0.0%
山科区	225	1.3%	6.2%	16.4%	20.4%	32.4%	20.0%	3.1%	0.0%
下京区	461	0.0%	3.9%	9.1%	20.4%	31.7%	26.7%	7.6%	0.7%
南区	228	0.0%	3.1%	8.3%	18.4%	43.9%	23.2%	2.6%	0.4%
右京区	363	0.3%	6.3%	14.3%	16.3%	38.6%	22.9%	1.4%	0.0%
西京区(本所管内)	116	0.0%	2.6%	14.7%	23.3%	33.6%	23.3%	0.9%	1.7%
西京区(洛西支所管内)	54	0.0%	3.7%	16.7%	14.8%	55.6%	9.3%	0.0%	0.0%
伏見区(本所管内)	370	0.8%	6.8%	11.4%	14.9%	39.2%	24.6%	1.9%	0.5%
伏見区(深草支所管内)	137	0.0%	2.9%	13.1%	22.6%	38.7%	21.9%	0.7%	0.0%
伏見区(醍醐支所管内)	68	1.5%	5.9%	4.4%	11.8%	36.8%	35.3%	2.9%	1.5%

(3) 会長在任年数

会長在任年数をみると、「1年未満」が69.3%で最も多く、次いで「1年以上2年未満」(13.1%)となっている。

地域別にみると、いずれの地域でも「1年未満」が最も多く、北区・西京区(本所管内)では8割以上を占めている。

なお、「3年以上」として算出した場合、伏見区(醍醐支所管内)が23.5%で最も多くなっており、会長の選出方法や年齢と類似した傾向がみられることから、互選による選出では会長在籍年数が長くなる傾向がみられる。

図 会長在任年数

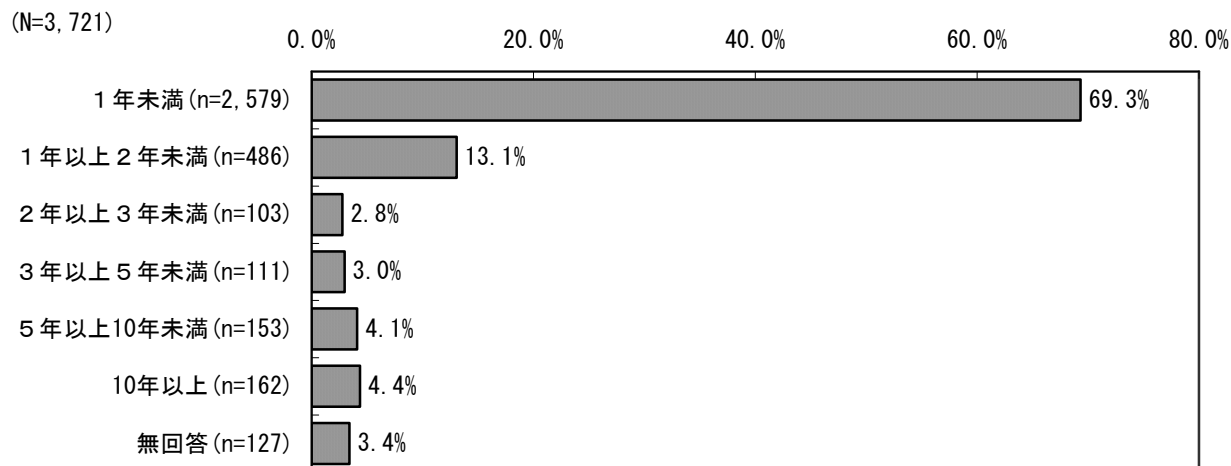


表 地域別 会長在任年数

	母数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上	無回答
北区	313	80.2%	11.8%	1.0%	0.3%	2.6%	1.9%	2.2%
上京区	385	77.7%	9.9%	1.6%	2.6%	2.9%	3.1%	2.3%
左京区	365	61.6%	18.6%	3.3%	1.6%	5.2%	3.8%	5.8%
中京区	428	66.6%	13.1%	2.6%	2.3%	2.8%	3.5%	9.1%
東山区	208	53.8%	15.9%	4.3%	8.2%	7.7%	7.2%	2.9%
山科区	225	75.6%	9.8%	0.9%	2.7%	4.0%	5.8%	1.3%
下京区	461	66.2%	12.6%	2.2%	3.9%	5.6%	5.9%	3.7%
南区	228	60.1%	12.3%	5.3%	4.4%	6.1%	7.9%	3.9%
右京区	363	73.6%	12.9%	2.5%	3.6%	2.8%	3.6%	1.1%
西京区(本所管内)	116	80.2%	10.3%	2.6%	1.7%	1.7%	0.9%	2.6%
西京区(洛西支所管内)	54	77.8%	7.4%	3.7%	3.7%	5.6%	0.0%	1.9%
伏見区(本所管内)	370	70.0%	14.3%	3.5%	1.9%	3.0%	5.7%	1.6%
伏見区(深草支所管内)	137	70.8%	16.8%	2.9%	2.2%	4.4%	2.2%	0.7%
伏見区(醍醐支所管内)	68	54.4%	10.3%	10.3%	8.8%	8.8%	5.9%	1.5%

(4) 会長としてご苦勞、ご負担に感じておられること

会長としてご苦勞、ご負担に感じておられることをみると、「行政や団体からの情報・資料の町内への配布・伝達」が43.3%で最も多く、次いで「学区や各種団体の会議や活動への参加」(42.2%)、「貴会の会議や各種活動への参加」(25.4%) などとなっている。

地域別にみると、北区では「行政や団体からの情報・資料の町内への配布・伝達」、左京区では「学区や各種団体の会議や活動への参加」がそれぞれ最も多くなっている。伏見区(醍醐支所管内)と山科区はどの項目も全体的に多く、苦勞・負担が多いという傾向がみられ、この傾向は町内会の活動が活発な表れであると考えられる。

なお、行政からの依頼による負担は、町内会長が市政協力委員を兼ねている場合は、「町内会長として」の業務と「市政協力委員として」の業務を混同して回答している可能性が高いと考えられる。

図 会長としてご苦勞、ご負担に感じておられること(複数回答)

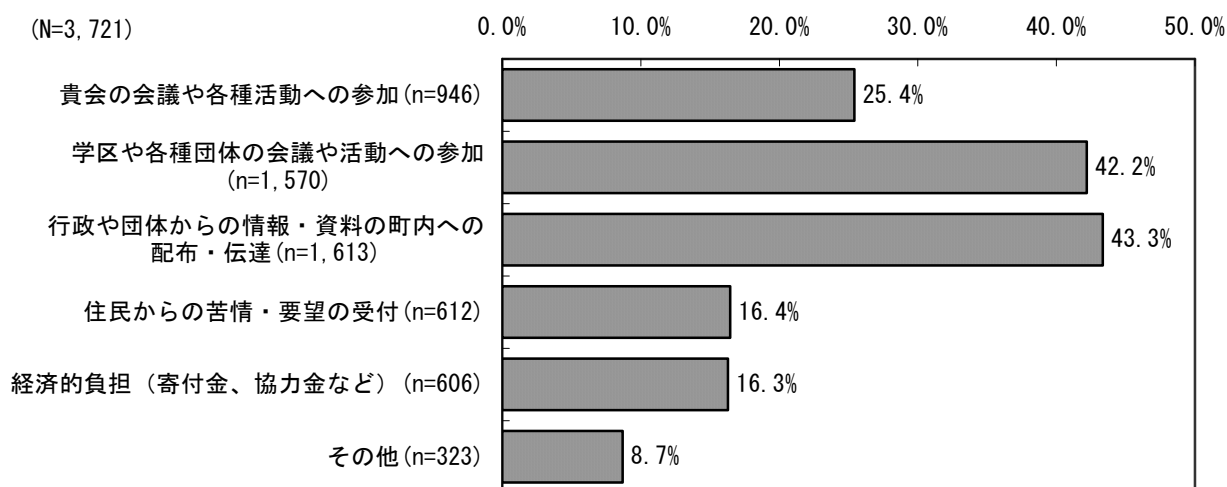


表 地域別 会長としてご苦勞、ご負担に感じておられること（複数回答）

	貴会の会議や 各種活動への参加	学区や各種団体の 会議や活動への参加	行政や団体からの情報・ 資料の町内への配布・伝達	住民からの苦情・ 要望の受付	経済的負担（寄付金、 協力金など）	その他	平均回答個数
京都市全体	25.4%	42.2%	43.3%	16.4%	16.3%	8.7%	1.52
北区	29.1%	46.6%	49.2%	12.8%	16.3%	8.3%	1.62
上京区	21.6%	36.6%	48.1%	11.7%	13.8%	7.0%	1.39
左京区	22.5%	38.6%	38.1%	14.8%	11.8%	9.9%	1.36
中京区	20.1%	39.7%	43.9%	15.4%	13.6%	7.7%	1.40
東山区	23.1%	41.8%	43.8%	18.3%	20.2%	11.1%	1.58
山科区	32.9%	55.1%	51.1%	23.6%	27.1%	11.6%	2.01
下京区	24.7%	37.5%	41.6%	10.6%	16.1%	8.2%	1.39
南区	26.8%	46.9%	43.4%	19.7%	17.5%	7.9%	1.62
右京区	31.4%	48.5%	45.2%	16.3%	18.2%	8.5%	1.68
西京区（本所管内）	31.0%	49.1%	53.4%	21.6%	19.8%	6.9%	1.82
西京区（洛西支所管内）	29.6%	48.1%	27.8%	18.5%	9.3%	9.3%	1.43
伏見区（本所管内）	21.6%	33.5%	35.1%	19.2%	14.6%	9.7%	1.34
伏見区（深草支所管内）	24.1%	38.7%	35.8%	24.8%	15.3%	4.4%	1.43
伏見区（醍醐支所管内）	41.2%	66.2%	44.1%	33.8%	22.1%	14.7%	2.22

第1位
 第2位
 第3位

表 会長としてご苦勞，ご負担に感じておられること（複数回答）－各項目上位の行政区

	第1位	第2位	第3位
貴会の会議や各種活動への参加	伏見区 (醍醐支所管内)	山科区	右京区
学区や各種団体の会議や活動への参加	伏見区 (醍醐支所管内)	山科区	右京区
行政や団体からの情報・資料の町内への配布・伝達	西京区 (本所管内)	山科区	北区
住民からの苦情・要望の受付	伏見区 (醍醐支所管内)	伏見区 (深草支所管内)	山科区
経済的負担（寄付金、協力金など）	山科区	伏見区 (醍醐支所管内)	東山区

第3章 調査結果の概要

1 行政区ごとでの違い

上京区や中京区、下京区といった中心の行政区では、概して一町の町域が狭く、平均した加入世帯数も50世帯前後と自治会・町内会を構成する世帯数も少ない。

一方、山科区や西京区、伏見区といった周辺の行政区は、概して一自治会の世帯数も平均世帯数で120～160世帯多く、大規模な自治会となっている。

また、中心地域は、古くから形成され、歴史もあるが、古い故に自治会の規約も未整備なままに今に至っている自治会も多くなっている。もうしおくりや住民間の決め事で運営されてきたが、それが今では、新住民が参加することの弊害ともなっている。そのため、担い手不足や自治会の新規加入者不足といったことにもつながっているとも考えられる。

一方、周辺の行政区では、新たに組織化された自治会も多く、すでに既存の自治会の規約等が整備されていたこともあり、いわばマニュアル化された運営組織形態をまねることで、規約等の整備がなされた上で、運営されてきている。

しかしながら、新住民や新たに移り住んできた人も多く、自治会の必要性が十分に浸透しているとは言えない状況で、未加入者が多くいるということも見られる状況である。

また、大規模な団地やマンションでは、それ自体が1つの自治会を組織することも多く、地域の町内会との融合がなかなかされないで、町と分離されて運営されていることも多くなっている。

2 高齢化の弊害

地域住民の高齢化により、自治会に加入していても、役員などの実際の活動の中核とはなりにくい人が多くなり、担い手不足が現れている。

3 自治会の役割・目的の形骸化

自治会の果たす役割や目的が十分に理解されていないことや加入するメリットが見えないことが未加入者の増加につながっている。

今一度、メリットを打ち出さないことには、理解が得られにくく、加入促進の呼びかけをしてもただちに効果が現れてくるとは言えない。

自治会の役割は、互いに支え合い住みよいまちを作っていくことがあげられます。そのために運動会や夏祭りなど、様々な親睦行事を通じて地域の住民同士が交流を深めたり、地域の生活環境の向上に取り組んだり、健康づくりや福祉活動に取り組むことが大きな役割と考えられます。

また、最近では子どもが狙われる事件や不審者による犯罪等が目立ってきています。そこで、地域に住む人たちが防犯に気を配り、安心して暮らせるまちづくりのための防犯パトロール活動を行う自治会も増えています。

さらに、いつ起こるかもしれない災害に備え、自主防災組織をつくり防災訓練を実施し災害に強いまちづくりを進めています。

自治会活動は、地域の状況や規模によりさまざまですが、地域の特性に応じた自主的な活動を通じ、住みよいまちづくりに向けた様々な活動を行なっていくことがあげられます。

そして、自治会の主な活動例としては、「交通安全、防犯活動」や「文化レクリエーション活動」「防災活動」「社会福祉に協力」「ごみ収集所の管理」「環境美化」「子ども会、老人会などの活動」

などがあげられていますが、際だってその活動の必要性が伝わってこないため、意識が希薄となっているのが、現状となっています。

4 運営上の課題

多くの自治会が会長の選出方法として、選挙や輪番制をとっています。そのため、会長も1年交替となっている自治会が多く、引き継ぎに当たって十分にノウハウが引き継がれて行かなくて、運営のノウハウが継承されにくい事態となっています。

そのため、運営の企画内容が前年通りということで、行事がマンネリ化という事態となり、不活発な状況となっており、ますます、自治会活動の沈滞化を招くという悪循環に陥っている状況が視えます。

その解決策の1つとして、自治会の活性化に向けて、近隣の自治会との統合や連携を求める意見も今回の調査結果から明らかとなっています。近隣の町内会と共同運営や連合化して運営していくことで、加入世帯も多くなり、単一の小規模な自治会では、参加者や担い手不足であっても、その解消が可能となり、企画内容も新鮮なものが出てくるなどの期待があると思われます。

また、情報提供においても、広報紙やホームページを独自に作成して、広報活動の強化を行っている自治会はごく少数となっています。

作成のノウハウがないことも、多く、そのため十分な情報提供ができないでいるということとなっています。

自治会マネジメントを共有できる講座など他の自治会が行っていることや悩みを共有できる場づくりなどにより、活性化していく方策を検討していく必要があります。